

ユニバーシティ・ミュージアムと学芸員養成課程

檜村 賢二

KASHIMURA Kenji

(COE研究員・PD)

はじめに

神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」では、その教育プログラムとしてもっぱら非文字資料に依拠する博物館専門職員(学芸員)等の高度専門教育の推進を図る博物館、資料館に勤務する仮称シニア・キュレーター、学芸員、アーキビスト等高度専門職業人養成方法の開発と新システムの試行を掲げている。そして研究拠点のひとつ歴史民俗資料学研究科では2003年から博物館資料学コースが開設されているが、その養成目的と実質的なカリキュラムの内容は思考、検索中であることは佐野賢治が述べている通りである⁽¹⁾。

筆者は博物館に興味を持ち、まだ博物館資料学コースのない頃の歴史民俗資料学研究科で学び博物館関係の仕事に従事した経緯を持つものとして、また博物館に興味をもち学芸員を目指して歴史民俗資料学研究科の門をくぐる学生の多さを知るものとして博物館専門職員を養成することを想定した博物館資料学コースが開設されたことを歓迎し、21世紀COEプログラムにおける研究成果としてその発展を切に願っている。その後押しするつもりでその発展の方向性についてひとつの提案をすることがこのノートの執筆目的である。

とはいうものの筆者は本プログラムに研究員として籍は置くが、その中で高度専門職業人養成方法の開発と新システムの試行に直接参加している訳ではなく、COEプログラムの見解ではなくあくまで私見、提案であることをお断りしておく。そして本プログラムにおいては広く社会に高度専門職業学芸員のあり方、その養成方法を提示することを目的としているのであるが、私の見解は研究拠点のひとつ神奈川大学大学院歴

史民俗資料学研究科を中心事例とし、さらに現状と問題を加味しつつ高度専門職員養成の可能性を考え、そこからひとつの道筋を描くことを目的とする。

I 学芸員養成の現実

本プログラムでも研究されている高度な博物館における専門職員とは、今までの4年制大学を卒業して学芸員資格を得た者に対しさらに知識、技能を修得させ現在、そしてこれからの博物館、社会に望まれ貢献できるような即戦力に近い専門職員を養成、教育方法を検討することにあると理解している。歴史民俗資料学研究科においては歴史系、そして民俗系の学芸員養成について検討することになるがそもそも学芸員とは何なのだろうか。

学芸員の職については、博物館法(昭和26年法律第285号)の第4条第3項に定めがあり、「博物館に、専門的職員として学芸員を置く」とされている。また、学芸員補という職もあり、学芸員補は、学芸員の職務を助けるために博物館におかれる職とされる(博物館法第5条第4項・第5項)。学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどり(博物館法第4条第4項)、一般に、学芸員が行う職務の類型は、研究・調査、収集・展示普及、保存・管理とされ、展示普及においては社会教育従事者としての立場も含まれる。

そして学部における学芸員養成課程は博物館法施行規則第1章第1条にある8科目12単位を修得することが最低条件となる。

(博物館に関する科目の単位)

科 目	単位数
生涯学習概論	1
博物館概論	2
博物館経営論	1
博物館資料論	2
博物館情報論	1
博物館実習	3
視聴覚教育メディア論	1
教育学概論	1

しかし、これらのわずか12単位を取得すれば一人前の学芸員になれるわけでないことは学芸員養成担当の教員、また学芸員志望者も承知しているところであろう。この8科目12単位のほかにも授業を設けてより学芸員にふさわしい人材を育てようとする大学もあるが、博物館実習の受け入れ機関をさがすところから苦勞し、また現在、博物館によっては運営の合理化や民間営利企業の運営方法を取り入れるべく指定管理者制度が導入されたり、また導入を検討している実情から、経験豊富な学芸員から手取り足取り指導を受けるということは不可能であり、見学に近い実習でおわり、博物館の空気を吸ったというだけの場合も多々あると聞く。筆者は私立T大学で平成5年に学芸員資格を取得したがバブル経済崩壊以前、博物館が現在のように財政を圧迫する存在とみなされていなかった時代においても、100人近くの博物館実習履修者が博物館において業務に即した実習をおこなうことは不可能で、結局、教員とつながりがある国立国会図書館と東京国立博物館などを実質見学しただけであった。現実では学芸員資格が設けられた当初から大学学部のみにおける学芸員養成は不可能であり、博物館に採用されてそこで先輩の学芸員などに徒弟制度的実践教育のなかで育成されていったと考えてよいだろう。要するに学芸員制度ができたことで博物館に専門職員を置くべきという制度が定着したことは評価できるが、大学学部において真の学芸員、専門職の養成はもともと行われてこなかった。

しかし現在の博物館の置かれた厳しい環境はそのような博物館内での学芸員育成を行うほどの余裕を失

い、完成された専門職員としての学芸員を求めているようになってきたと私は見ている。

そうなれば当然、短期大学などで取得する学芸員補資格は意味をもたなくなり、さらに4年制大学にて学芸員資格を取得しても、さらに最低修士課程を修了し研究に対する専門性を身につけなければ博物館に学芸員として採用されることは少なく、近年では博士課程在学、または修了したものが学芸員となるケースが増加している。そうした現状からすれば学芸員資格も単なる入門資格でしかなく、高度専門職を養成する大学院においては大学教員を養成するための歴史学、民俗学、美術史、生物学など単なる学術知識を植えつけるのみではなく、さらに博物館などの高度な専門職従事者としてふさわしい実践的知識、技術を統合した博物館学を学ぶことができることが必要かつ要望される状況にあるといえる。

博物館では資料を研究し保存、整理の技術を駆使し、膨大なコレクションを管理する。それを展示などの方法で人々に公開する場合において手際よく処理する技術とともに時には体力勝負となることも多い。そしてその博物館資料をもとに研究し報告書、論文を作成する学術的な知識もさらに要求される。それを学部における1、2週間程度の博物館実習、学部教育で会得することは不可能であろう⁽²⁾。それならば博物館学を体系的に学びさらに机上の空論にならぬよう実践するには、実際の博物館において経験を積むしかない。博物館運営の中で継承されている技術と学術的知識を身につけさせ基礎力を身につけさせることが必要であろう。実際は博物館高度専門職(シニア・キュレーター)の養成以前の問題として即戦力に近い技能、知識を備えた学芸員が求められている状況にある。

II インターシップの重要性

即戦力に近い学芸員の養成には博物館における実践が必要であり、そのためには博物館におけるインターンシップが必要と考えている。本プログラムではシニア・キュレーター養成システムづくりのためにアメリカのユニバーシティ・ミュージアム(大学博物館)の現状と博物館学コース、そこでのカリキュラムを

調査し、カンザス大学とハーバード大学の修士課程における例を提示している。詳細は佐野の報告を参照していただくとして、⁽³⁾その特徴はミュージアムの専門職員を養成する場が専任教員の配置された教育施設としてのユニバーシティ・ミュージアムであり、またその学内の博物館または学外の博物館におけるインターンシップが200時間から500時間ほど求められるという点にあるといえる。

このユニバーシティ・ミュージアムを拠点としインターンシップを重視した教育プログラムはアメリカにおいては学芸員という国家に定められた資格がないことや、アメリカの博物館は市民による寄贈、寄付、ボランティアに支えられる面が大きいなど日本の現状とは異なる面があるにしても大いに参考にすべきであろう。

私事になるが、私が長野県にある民間の設置する歴史民俗系の展示施設を有するミュージアムパークの設立の仕事をおこなった際、役に立った知識、技術、情報のネットワークは当時まだ展示施設はないもののアチックミュージアムを前身として古文書の調査研究、史料整理を行っていた神奈川大学日本常民文化研究所、横浜市歴史博物館などでのアルバイトとしての実務経験で培ったものであった。大学院での古文書修復、民具実測などの特化した一部分でなく博物館業務が総体として存在する博物館の中で経験豊かな専門分野の人たちの中でその作業を目の当たりにし自らも実践することが重要であったのだ。そうした経験的な見地からも専門教員を配置したユニバーシティ・ミュージアムを拠点とし理論とともにインターンシップを重視した博物館専門職員の養成を理想として考えている。そうしたことは神奈川大学日本常民文化研究所においても理解しており、実務アルバイトに任期を設け数多くの歴史民俗資料学研究所の院生に責任ある仕事を経験させようと努力しているが、それにも限度がある状況である。

インターンシップにより技能、知識の習得が不可欠であることは間違いないがユニバーシティ・ミュージアムにおいて博物館活動を実践し続けながら体系的な博物館学のあり方を研究することなく、それを学外の博物館にまったく委任してしまうことには問題がある

う。アメリカの大学ではユニバーシティ・ミュージアムを博物館学の拠点にして教育活動をおこなっているわけであるが、日本においても学芸員を養成するにあたり大学内に実習の場として実験の場としてユニバーシティ・ミュージアム（大学博物館）を設置することは有効であろう。日本において特に国家資格にかかわるような専門領域においては大学の附属施設を置くことが定められているが、大学で取得する学芸員資格においてはその附属施設として博物館が議論されないことには疑問がある。

日本の「大学設置基準」(昭和三十一年十月二十二日)(文部省令第二十八号)を見ると以下のようにある。

(附属施設)

第三十九条 次の表の上欄に掲げる学部を置き、又は学科を設ける大学には、その学部又は学科の教育研究に必要な施設として、それぞれ下欄に掲げる附属施設を置くものとする。

学部又は学科	附属施設
教員養成に関する学部又は学科	附属学校
医学又は歯学に関する学部	附属病院
農学に関する学部	農場
林学に関する学科	演習林
獣医学に関する学部又は学科	家畜病院
畜産学に関する学部又は学科	飼育場又は牧場
水産学又は商船に関する学部	練習船(共同利用による場合を含む。)
水産増殖に関する学科	養殖施設
薬学に関する学部又は学科	薬用植物園(薬草園)
体育に関する学部又は学科	体育館

以上のように定められている。

たとえば医者であれば医大・医学部には附属病院があり、そこで教員は医者として医療に従事するとともに学生の指導にあたり、時には病院において実務を見学させるなど医者を育てていく。また卒業、国家試験に合格すればさらにインターン(研修医)として実務経験を積んでいくことになる。

アメリカの大学における博物館学コースとユニバーシティ・ミュージアムは医学部と附属病院と同様な関係にあり、これを日本の学芸員養成においてもひとつ

の理想型と見ることも可能ではないかと考えている。

Ⅲ ユニバーシティ・ミュージアム

博物館専門職員養成において重要と思われるユニバーシティ・ミュージアム、それは博物館のひとつのあり方であるが、それがどうあるべきかその理想像を築き上げるのはなかなか難しい。日本の博物館は博物館法によって規定されている。博物館法第2条によると、博物館の定義は、

歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管（育成を含む。以下同じ。）し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関」のことで、公民館・図書館を除くものことである。さらにそのうち、地方公共団体、財団法人、社団法人、宗教法人、日本赤十字社と日本放送協会が設置するもので第二章の規定による登録を受けたもの

としている。

そのため、国立（独立行政法人含む）の施設が博物館法適用外になるなど、世界標準からは博物館とみなされる施設が、博物館法上の博物館と、博物館法上の博物館でない博物館に区分されるという現象を生じている。そうした上でユニバーシティ・ミュージアムは博物館ではなく博物館相当施設ということになる。そうした中、大学博物館は近年増加し、また見直しがはじまっている。1996年1月18日に学術審議会、学術情報資料分科会学術資料部会の報告である「ユニバーシティ・ミュージアムの設置について（報告）—学術標本の収集、保存・活用体制の在り方について—」が出されたことも影響し、学術資料の保存・活用と中枢として大学博物館の必要性が見直されはじめたことが主な原因であろう。⁽⁴⁾ この報告のむすびには以下のようにある。

ミュージアムの設置は、新たな学術研究を支える基盤を構築しようとするものであり、関係機関において着実かつ速やかに対応することが望まれ

る。殊に国立大学については、精選された学術標本が極めて多いことから、報告の趣旨を踏まえ、直ちにミュージアムの設置に着手することが望まれる。

またこれまで大学で保管されてきた学術標本の画像データベース化と情報公開は、学術標本の保存・活用の基礎であり、ミュージアムの設置に並行して実施可能な機関等において、直ちに着手することが必要である。

この報告により今まで博物館をもっていなかった国立大学、たとえば宇都宮大学、香川大学などにおいて博物館の設置準備委員会を設け新たな設置に向けて動き出している。しかしこの大学博物館設置の動きは報告にあるように学術資料の公開に向けた動きであり、たとえば博物館のあり方を根本的に問うような博物館学の研究、また博物館の活動を支える学芸員の養成を問い直すような動きは残念ながらあまり多く見られないようである。

それではいくつかの特徴あるユニバーシティ・ミュージアムの状況を紹介することとする。

(1) 東京大学総合博物館

東京大学総合博物館は1966年に総合研究資料館として考古、文化人類、人類先史、医学、動物、植物、薬学、岩石・鉱床、地史古生物、鉱山、鉱物、地理の12部門で発足し、1967年考古美術、水産動物、1968年美術史、建築史、森林植物を増設された。発足以来、学術標本の収集・整理・保存とその有効活用を使命として活動、1975年学術資料ならびにその保存に関する基礎的研究を追加、1993年には総合研究資料館に研究部と資料部が設置され、学術標本の収集・整理・保存とその有効活用ならびに自然史・文化史を中心とする基礎的研究を遂行することとなり、1996年には総合研究博物館へと改組された。

現在のスタッフは館長1名、専任教員7名、客員教員・特別研究員等6名、非常勤4名となっている。その組織と人員構成は日本のユニバーシティ・ミュージアムでは随一とあっていい。また教育活動にも力を注いでおり、博物館及び博物館相当施設の専門職員の再教育の場として「学芸員専修コース」設けている。東京大学総合博物館のホームページによる紹介によれば

このコースは、

大学等の高等研究機関で生まれる新しい研究の成果を広く紹介し、それをもって自然史・文化史の枠を超えた、文字通り博物学的な「博物館学」を、博物館資料の収集や管理、資料活用や展示設計に関わる「実践的な知」と併せて習得させる専門的リカレント教育の場として企図され

たものであるという⁽⁵⁾。すでに専門職を持つ人の再教育ということでは本プログラムによる高度専門職学芸員の養成とは趣旨が異なるものの、参考とすべき事例であろう。

また東京大学総合博物館では東京大学以外の学生であっても学芸員実習を随時受け付けており、相談の上で日程やプログラムを組むという。このような余裕もっているのも他のユニバーシティ・ミュージアム、また一般の博物館を含めてもここだけではないだろうか。

また展示室で案内をおこなっているボランティアによると入館者も平日でおおよそ40人から100人程度で休日は200人から300人程度あり、高校生の団体による見学が比較的多く、時には一日の入館者が1400人ほどに達することもあるという。広いとはいえない展示室の博物館としては驚くべき数値であろう。また常設展示替えは1年に1回程度行っており、企画展は年間3回行っているという。

この博物館の特徴は退官した東京大学の教官、またはOBの標本、コレクションの寄贈が多いことにあり年間数千点の寄贈があるという。その整理作業だけでも大変な作業となるが博物館の命である博物館資料が年々それだけ確保でき充実することは好ましいことである。

(2) 明治大学附属博物館

明治大学附属博物館は刑事博物館（1929年創設）、商品陳列館（1951年設立）、考古学博物館（1952年設置）統合し3部門として統合して2004年4月にオープンした。ここの特徴は博物館活動本来の生涯教育、社会教育を軸としている点であり、1995年に学外の一般向けに開設した教育プログラムである博物館入門講座がそれにあたる。

専任の学芸スタッフは1996年の時点で職員、嘱託

（委託学芸員）を含めて16名となる⁽⁶⁾。私立大学におけるユニバーシティ・ミュージアムにおいては充実した人員配置であろう。

学芸員養成課程との関係においては館内に実習室を設け通年で実務実習を受け入れており、明治大学以外の他大学であっても受け入れている。

明治大学附属博物館はより大学の学術資料を生かした社会教育に重点を置いている点で1996年1月18日に学術審議会、学術情報資料分科会学術資料部会の報告によるユニバーシティ・ミュージアムのあり方に近い性格もっている。

(3) 常磐大学博物館学博物館

常磐大学では、コミュニティ振興学部に、ミュージアムによるまちづくり、コミュニティの活性化などに寄与できる人材養成を目指すというミュージアム・マネジメント専門コースを設けている。常磐大学の説明によると、博物館の本質とは何かを探求し、資料の収集、保存、調査研究、展示、教育など博物館活動の独自の方法について科学的に追求する博物館学を研究・教育に役立てることを目的として、2002年11月に開館し、博物館関係の授業に使用し教員や学生だけでなく一般にも開放している。館内の展示は博物館学の中で、自然史、歴史、民俗などの展示を通して、個体展示・ジオラマ・複合展示・分類展示・生態展示・比較展示・参加体験展示・歴史展示など展示形態や表現方法、照明方法、彩色、展示解説のあり方などの理解を図ることを中心にしているという⁽⁷⁾。

このプロデュースをおこなった水嶋英治によると博物館学博物館は「教材としての博物館」を目指しており、三つの施設から構成されているという。第1に完成された「展示施設」であり、第2に学生たちの「実習館」であり、第3に博物館学博物館の附属施設の「専門図書館」であり全国の博物館の目録・図録などが2万点収められているという⁽⁸⁾。

博物館学における展示形態と表現方法という基礎的部分に特化した事例として興味深いのが、開館以来4年が経過しているが企画展や展示のリニューアルはなく、また平日午後から学芸員養成課程の学生を中心に人員を1名配置し公開しているが、平均入館者は1日10人に満たないことがほとんどであるという。

完成された展示施設というものの、専任職員もおらず新たな資料の収集、整理、研究、公開などの博物館活動が行われていない、入館者もきわめて少ないという現実、体系的に博物館学を学ぼうとするには難しい施設であろう。それは常磐大学も理解しているようで地域の博物館との関係を深めネットワークを築きミュージアム・マネジメント専門コースの大学院生をインターンとして派遣することを開始している⁽⁹⁾という。

日本におけるユニバーシティ・ミュージアムは1996年の学術審議会、学術情報資料分科会学術資料部会の報告にあるように広く社会に学術資料を公開するという方向性で運営されているものが多く、学内で学ぶ学生を対象としてはそれほど積極的に活動していないようである。数週間の博物館実習を受け入れる以外の活動は少なく、例にあげた東京大学総合博物館及び明治大学附属博物館のように博物館活動全般を行っているものはごく限られた例である。しかし博物館を名乗る以上は博物館活動を積極的に行っていく必要があり、それを行っているユニバーシティ・ミュージアムに意義と存在感を感じる。

IV 日本のユニバーシティ・ミュージアムと学芸員養成

博物館専門職員(学芸員もしくは高度専門職学芸員)の養成には母体としてユニバーシティ・ミュージアムが必要であること、そしてインターンシップの重要性を強く主張したわけであるが、現在日本においてユニバーシティ・ミュージアムがどのくらい存在し、それはどのような特徴があるのだろうか。さらに専任教員、職員(学芸員を含む)がどの程度いて運営しているのか、明治大学博物館によるユニバーシティ・ミュージアム調査のリストを⁽¹⁰⁾参考にしてインターネットによる検索、電話による問い合わせ、一部現地調査を含めてまとめたのが別掲の表「ユニバーシティ・ミュージアムと学芸員養成課程の関係」となる。明治大学の調査では単なる講演、シンポジウムなどに使用する神奈川大学セレストホールがミュージアムとしてリストアップされている一方、日本常民文化研究所は展示施設である参考室を持ちながらリストにあげられていないなどしているために、資料を保管し展示室、または収蔵

室自体をある程度公開しているものを追加させ、単なる貸しギャラリーのような箇所は削除した。そのリストにユニバーシティ・ミュージアムと学芸員養成課程とどの程度関係があるかという独自調査を加えたものである。

その集計の結果、現時点では日本において大学博物館と相当する施設(植物園なども含む)が220確認された。さらに厳密にユニバーシティ・ミュージアムを⁽¹¹⁾規定し、詳細な実地調査をおこなえば増減はあるものと思われるが、現時点においてその結果を分析してみることとする。またこの220という数は一つの大学に数館ある場合もあるが、日本における文部科学省によると日本の大学数は689校であることからすると、ユニバーシティ・ミュージアムを備えるのは3割以下の大学ということになり、数値的にも普及していない現状がわかる。

① ユニバーシティ・ミュージアムと学芸員養成との関連性

- ・大学博物館に実習室を備えるなど学芸員養成と関係があるもの……………69
- ・大学に大学博物館と学芸員課程があるがその相互関係が不明……………19
- ・不明・関係なし……………132

この数値と文部科学省の「学芸員開講大学一覧」(平成18年4月1日現在)⁽¹²⁾による4年制大学287校、短期大学(部)29校、合計315校という数値を照らし合わせると学芸員養成課程において大学博物館が何らかの役割を果たしているのは20パーセント程度であり、アメリカの博物館専門職員養成課程のようにユニバーシティ・ミュージアムがその母体となっているような事例については皆無で、趣旨が少々ことなる学芸員専修コースを設けている東京大学総合博物館の事例が目立つ程度である。

② 学芸員など専門職員の配置

- ・学芸員・嘱託職員(有学芸員資格)が配置されている……………33
- ・専任教員を配置……………30
- ・兼任教授、研究員配置……………10
- ・専任職員なし……………13
- ・不明……………135

この数値では学芸員または正式に学芸員として採用されているのではなく学芸員資格を持っている職員として採用されている人員が配置されているものが33であり、ユニバーシティ・ミュージアムの220という数値からするとわずか15パーセントのみということになる。また大学の教育機関として教員が専任として配置されている場合もあるがこれは30であり14パーセントとなる。学芸員養成課程をユニバーシティ・ミュージアムで行うならば専任教員が配置されることが望まれるがその事例は少ないことがわかる。また正式に学芸員として人員が配置されることは極めて稀である。国立大学では基本的に独立した部署とするには学芸員ではなく教員を配置する必要があることから学芸員配置はほとんどなく、山形大学附属博物館では図書館内に博物館を設けて管理し学部の教員を館長と学芸研究員として兼任させ、博物館実習などの管理実務は嘱託職の事務補佐員（有学芸員資格）が行っているという複雑な形態をとる場合もある。私立大学の場合は学芸員の資格をもつ事務職員が配置されることが多いが、その多くは任期付嘱託職員であり、組織としてしっかり人員を配置している場合は稀である。学芸員などの配置が不明の135の多くは事務系の職員が鍵の開け閉めをおこなうなどの管理をしているのみの場合が多いようである。

③ 博物館相当施設

- ・ 認定……………52
- ・ 不明および無指定 ……170

ユニバーシティ・ミュージアムにおいて博物館法第29条により博物館相当施設として指定を受けているものは220施設中52で24パーセントである。

熊野正也による次のような指摘がある。⁽¹³⁾ 博物館相当施設では該当施設がある都道府県教育委員会に申請をするが、地方公共団体や民法第34条法人（財団法人または社団法人）もしくは宗教法人の場合は登録博物館となり、都道府県教育委員会に備える博物館登録原簿に登録されるが、この両者の申請書の中には決定的な違いがあるという。その違いは学芸員に関することで登録博物館の場合は「…博物館資料の目録並びに館長の氏名及び学芸員の種別ごとの氏名」と学芸員の職名が明記されるが、博物館相当施設の場合は「…該当

施設の長の氏名及び学芸員に相当する職員の氏名」となっていて、極端な言い方をすれば相当施設の場合は、特に学芸員という資格がなくても良く、研究者や教育者でも博物館業務をできるものがいれば誰でも良いということである。これは大学という性格を配慮した結果とも考えられるが、学芸員養成課程を有する大学博物館にとっては大きな矛盾があるという指摘である。

このような大学内にある博物館相当施設という性質が職員の配置にも大きく影響をあたえていることは間違いないであろう。アメリカのように公認の資格がなくても良い博物館文化があり、優れた博物館職員がいることからすると、公認の博物館、学芸員資格というものを必ずしも絶対的に見ることはないがこの指摘は一理ある。学芸員資格のみではなく博物館制度自体も見直す必要性が次第にでてきていることの現われとも見ることも可能である。

④ ミュージアムショップ（受付販売含む）

- ・ 運営している……………13

最後にユニバーシティ・ミュージアムにおけるミュージアムショップの設置数は、判明しているもので220施設中13であり5パーセントとなる。ユニバーシティ・ミュージアムはその性質上ミュージアムショップは必ずしも必要ないと感じる人が多いだろうが、博物館専門職員を養成使用とする場合は運営管理者として経営知識も近年求められており、ユニバーシティ・ミュージアムのショップを通して商品開発から販売までを学べるとしたらその効果は高いだろう。これも教育の可能性として考慮する必要があるだろう。

V 博物館専門職員養成コース実現への展望

—まとめとして—

ユニバーシティ・ミュージアムとしたものの中には大学全体の博物館である場合、または大学の一部の部局、たとえば学部附属の博物館や資料館が含まれており規模や目的はさまざまである。おそらくそれを規格化する必要はなく、かつての韓国のように総合大学には図書館とともに博物館の設置を義務づける必要もないであろう。⁽¹⁴⁾ またユニバーシティ・ミュージアムの方性は学外の一般社会に向けたものであり、必ずしも

学内における学芸員など専門職養成とは結びついていないことを確認した。しかしユニバーシティ・ミュージアムは教育機関である大学に設置される以上、広く社会に貢献するとともに大学の主体である学生の活動の場、教育の場であることが当然であろう。

そこで現在の学芸員資格をはるかに超えた有能で即戦力となる博物館等専門職員の養成方法を本プログラムの拠点となっている歴史民俗資料学研究所と日本常民文化研究所を事例にひきつけてもう一度考えてみよう。

神奈川大学21世紀COEプログラムでは、博物館高度専門職（シニア・キュレーター）をいかに養成するかを課題とし、高度な知識・技術を習得させるかが問題となっている。しかし本プログラムにより高度専門職学芸員の養成の研究プログラム以前に、すでに歴史民俗資料学研究所は学芸員など高度専門職の養成を目標に掲げてきた。歴史民俗資料学研究所の1993年に開設の趣旨には、

資料・文化財の散逸に歯止めをかける意味でも、当面、文献資料学、民俗資料の学問的な裏づけを持った実務に習熟し、各文書館・資料館・博物館における実務を、指導的な立場に立って推進しうる優れた人材の養成も本研究科の目的の一つに盛り込まれている⁽¹⁵⁾

とある。また、2004年度からは研究科には従来の文献史料学系と民俗民具資料学系に加え、まさに高度専門職学芸員の養成を目的とした博物館資料学系を新設された。それはこれまで博物館学芸員が経験によって得ていた資料蒐集力や資料理解力を、学術的・理論的な裏づけのもとで学び、さらに展示学、情報学まで修得したエキスパートを育てることを目指すものという。⁽¹⁶⁾

博物館資料学系の新設によって従来の「歴史史料整理補修実習」と称する古文書の補修と整理、「民俗民具資料計測作図実習」と称する民具の実測図作成二つに加え、「歴史史料調査実習」「民俗民具調査実習」「博物館実習」が新設されたが特徴的であるが、「歴史史料調査実習」「民俗民具調査実習」は博物館でなくとも行われる活動であり現地での調査のノウハウを持つ教員が自分の経験をもとにおこなわれているが、本来、学芸員を目指す院生にとっては実践的な経験を積

む重要な実習であるはずの博物館実習は実習先の確保からつまづいている。またこれらの実習科目が講義、演習が4単位であることにに対し半分の2単位であることからしてもまだ軽視されているのではないだろうか。実習数が増やされて体制も高度専門職学芸員を前面に出したものと推移したが、実際の講義、また実習にしても内容は一般の歴史学、民俗学を学べる他の大学院と大きく変わるところはない。

しかしその開設趣旨と「歴史民俗資料学」という魅力的な言葉に惹かれ、近年では博物館資料学系というまさに高度専門職学芸員養成コースに希望を抱き高度専門職学芸員を目指し入学する者は歴史民俗資料学研究所の新設当時から現在にいたるまであとを絶たない。そして実際、学芸員など専門職に就職していく者も少なくないのも事実である。しかし大学の教室または実習室で学んだ断片的な知識と調査法、資料整理の技術を体系的に実践する場に乏しく、実際は自発的に博物館、資料館などでアルバイト、よくて嘱託職員として経験を積み技術と自信を深めることで苦勞して職を得ていくものが圧倒的に多いという事実がある。

そうした現実の目前に日本常民文化研究所がある。民具の収集・分類、古文書の収集・整理、漁業史など多様な領域に及ぶ研究を実践し、今日においては常民参考室という展示施設を有し、日本の博物館、文化財制度に多大な影響を与えた澁澤敬三、宮本馨太郎、祝宮静などの縁があり、アチックミュージアムの流れをくむ日本常民文化研究所は文書館、民俗資料館としての位置づけも可能であろう。歴史民俗資料学研究所の設置母体であるそれを積極的に利用したインターンシップを重視した教育プログラムの実践が専門職養成には必要であろう。

今回得たデータではユニバーシティ・ミュージアムは社会貢献、情報の公開という時代の流れの中で近年増加しており存在感ある施設もあるが、それを利用して短期の博物館実習以外に長期かつ継続的に学芸員養成に活用している事例はいまだ存在しないということが判明した。その状況の中で私立大学であるとしても日本常民文化研究所が所蔵する学術資料を公開、社会に還元し、社会貢献していくべきことは当然であり、それは日本常民文化研究所をユニバーシティ・ミュー

ジウムとして位置づける必要性があることを意味しており、その資質は十分か拵えているだろう。欧米の事例では、アメリカのカンザス大学においてはユニバーシティ・ミュージアムを拠点として博物館学コースを設け、インターンシップを重視したプログラムを1981年に開設し、これまで135名が修了し、博物館・美術館をはじめ画廊などへの就職率は80パーセントを超えている⁽¹⁷⁾。アメリカと日本では博物館事情が異なるとはいえ大いに参考にすべきである。これから日本常民文化研究所を博物館化して専任教員の配置し、それをまさに歴史民俗資料学研究科の拠点と位置づけ従来の歴史学、民俗学、人類学、民具学の学術的教育を施し、また一方では新たに経験豊富な学芸員(教員)を配置して調査、収集・展示普及、保存・管理という実務実施と学生の指導にあたらせることができれば研究、博物館実務を相互に学べる環境になるだろう。そのようなことは学内事情の問題もありたやすいことではないことを承知しているが、日本常民文化研究所は歴史史料、民俗民具資料を所蔵し、展示施設まで有して、企画展も実施している現状からすれば、もう一步踏み込んで現在検討がおこなわれている常設展示を早急に実施し、日本常民文化研究所を恒常的な博物館とし、そこで博物館実習することは可能でありまたそうすべきである。そうすることにより、博物館等専門職を目指す者が歴史民俗資料学研究科で歴史民俗資料学を専攻しておきながら、歴史民俗資料学とは何か結局学術的にも実践の中にも曖昧なままに単なる歴史学、民俗学の研究のみを行うだけという違和感はある程度解消するのではないだろうか。

本プログラムにおいて目指す博物館専門職員(学芸員)等の高度専門教育の推進を図る博物館、資料館に勤務する仮称シニア・キューレーター、学芸員、アーキビスト等高度専門職業人養成方法の開発の方向性の答えは、どこか遠くユートピアに求めるものではなく我々の足元、本プログラムの研究拠点である日本常民文化研究所と歴史民俗資料学研究科の当初の趣旨の中にすでにあるように思える。日本常民文化研究所は民俗調査、民具収集、古文書調査と収集、そして整理、研究の中から多くの研究者、また国立民族博物館の前身ともいえる日本民族学会附属民族学博物館を生み出

し、また古文書調査からは日本の漁民をはじめ「常民」の社会を発見し、日本の文化財行政や博物館制度に貢献した宮本馨太郎、祝宮静を生み出し、また『花祭』の著者早川孝太郎や、宮本常一のように地方に埋もれようとしている優秀な人材を発掘した。日本常民文化研究所は調査、収集、整理、展示という実践の中で研究を行い人材、博物館を育ててきた。それをまた現在に行うというのが日本常民文化研究所を母体とした歴史民俗資料学研究科の設置であったのではないだろうか。高度専門職といえどもあまりにもよそ行きの上品な感じであるが実際には地方の博物館としてあまり機能していない博物館、資料館に赴いたとして独力でも博物館活動を実施し文化財を守り、地域に社会教育活動を根付かせて活気を与えられ研究成果を多方面に発信でき、新たな文化財を発掘しながら博物館活動の底上げをできるような人材こそ歴史民俗資料学研究科が育成していくべき人材なのではないだろうか。

以上勝手ことを述べたが、さまざまな制約や条件があり困難であることを知るものであるが、現在、またこれからも学芸員など高度専門職員を目指す学生、さらに学芸員として働く人たちに貢献できる教育プログラムを作成し、それで育った人々が大きな社会貢献をすることを願っており、本プログラムの研究成果が実践と効果を伴わない絵に書いた餅にならないように願っている。

注

- (1) 佐野賢治, 2006「文化情報発信システムとしてのインターネット博物館—大学・地域博物館の連携を中心として—」本COE年報3号, 2頁。
- (2) 博物館学芸員の現実としては、単なる資料の管理者、整理者であり、研究を行わない出来ない人もいるが、それが学芸員としてふさわしいとはいえ、現在の学芸員制度の問題点のひとつであろう。
- (3) 前掲, 佐野賢治, 2006, 2～8頁。
- (4) <http://ant.edb.miyakyo-u.ac.jp/gakushin/UnivMuseum.html>
- (5) <http://www.um.u-tokyo.ac.jp/education/curator.html>
- (6) 熊野正也, 2002「ユニバーシティ・ミュージアムのこれから—明治大学博物館の場合—」『ミュージアムデータ』56, 丹青研究所。
- (7) 常磐大学博物館学博物館パンフレットによる。
- (8) 水嶋英治, 2005「大学博物館は何を目指すのか—博物

館学博物館の取り組み』『大学時報』303, 日本私立大学連盟.

- (9) 水嶋英治氏の御教授による.
- (10) 伊能秀明・織田潤, 2006「〈資料〉日本のユニバーシティ・ミュージアム2006」『明治大学博物館研究報告』11, 明治大学博物館事務室.
- (11) この220施設の中には大学設置基準42条「薬学部における薬用植物園の設置義務」により設置された薬学部附属植物園が26施設含まれており, これを厳密にユニバーシティ・ミュージアムと考えるかは今後の課題である.
- (12) http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/gakugei/04060102.htm
- (13) 前掲, 熊野論文, 2002, 9頁.
- (14) 韓国では1955年の大学設置基準令によって大学博物館の設立が始まり, 1967年には総合大学に博物館設置が義務化された. しかし1982年に法律的設置根拠が削除された.
- (15) 田上繁, 2003「研究拠点紹介 歴史民俗資料学研究科」本COEニューズレター^{*} No.2, 12~13頁.
- (16) 神奈川大学大学院, 2006『神奈川大学大学院案内』, 82頁.
- (17) 前掲, 佐野, 2006, 4頁.

参考文献

伊能秀明・織田潤

2006「〈資料〉日本のユニバーシティ・ミュージアム2006」『明治大学博物館研究報告』11 明治大学博物館事務室.

神奈川大学大学院

2007『神奈川大学大学院案内』神奈川大学大学院.

全国大学博物館学講座協議会西日本部会

2006『概説 博物館学 (改訂版)』芙蓉書房出版.

- * 文献および注記について、略記している刊行物の正式名称は以下のとおりである。また刊行主体はすべて神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議である。

- ・ ニューズレター『非文字資料研究』
- ・ 『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化』
[2006年10月31日受理, 11月17日審査終了]

(別表) ユニバーシティ・ミュージアムと学芸員養成課程

榎村賢二

※伊能秀明・織田潤 2006 「〈資料〉日本のユニバーシティ・ミュージアム 2006」 『明治大学博物館研究報告』 11, 明治大学博物館事務室を参考資料として利用したが, その中で追加, 削除したものがある.

※ユニバーシティ・ミュージアムの概要は主に各館のホームページ上の概要を参考に筆者が簡略化した. また一部現地調査, 電話による問い合わせを行った場所もあるが, 詳細は記載した各館ホームページを参照いただきたい.

ユニバーシティ・ミュージアムと学芸員養成課程

番号	大学名	国公立私立	博物館名	問い合わせ	入館料	休日	概要	登録有無	専任職員(教員・学芸員)の有無	大学に学芸員課程の有無	学芸員養成との関連性	博物館講座の実施	ミュージアムショップ設置有無	備考	アドレス
1	東京大学	国立	東京大学人文社会系研究所附属常呂資料陳列館	〒093-0216 北見市常呂町栄浦384 ☎ 0152-54-2387 FAX 0152-54-2387	無料	火曜日、祝日、年末年始	東京大学文学部・人文社会系研究科が常呂町にて約50年間にわたって推進してきた先史文化のフィールドワークの成果を展示・公開している施設。館内には、東京大学の調査によって出土した、常呂町内を中心とする考古資料が展示され、それらの学史的・学問的意義が詳細に解説。		助教授1, 助手1		東京大学文学部の学生を受け入れている				http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-bsbsk/bunkashigen/parts/1160.html
2	北海道大学	国立	北海道大学総合博物館	〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目 ☎ 011-706-2658 FAX 011-706-4029	無料	月曜	全学的な学術資料を学内外に発信提供するために、1966年(昭和41年)から総合博物館設置が検討、諸事情から実現は先送り、その間、学内からは学術標本の有効活用の要請が増加する一方であり、学外や異なる分野の研究からは、学術標本の照会や利用希望が増加しており、それに応ずる上からも、総合博物館設置の必要性が高まった。理学部研究棟の新築移転構想の進展に伴い、理学部本館建物を総合博物館として再利用する計画が浮上し、学内に検討委員会を設置して具体的な計画案の検討に着手。その結果同建物を再利用して総合博物館にする構想がまとまって実現に至る。		教授制、館長1, 教授, 助教授, 助手計8		○新しい「博物館学」を確立・構築: 博物館実習によって自然保護や文化財保護に関する高度に専門的な学芸員を育成。	○市民セミナー開催	○懐中時計・置き時計・パンダナ(恐竜の骨格標本をデザイン)等多数の商品を取りそろえている	国立大学法人博物館等協議会加盟大学	http://www.museum.hokudai.ac.jp/
3	北海道大学	国立	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園・博物館	〒060-0003 札幌市中央区北3条西8丁目 ☎ 011-221-0066 FAX 011-221-0664	大人(高校生以上)一般400円	月曜	明治33年(1900年)に官制化された附属施設。現在は、博物館本館にて、北海道の自然(特に動物)を中心に考古・歴史資料の展示、北方民族資料室にて、アイヌ民族資料の展示、宮部金吾記念館にて、植物園の設立者である宮部金吾の遺品を展示公開。	○昭和27年(1952)博物館法博物館相当施設として指定	△教授制、研究部のみでも30名以上		○実習希望者をHPで募集			国立大学法人博物館等協議会加盟大学	http://www.hokudai.ac.jp/fsc/
4	岩手大学	国立	岩手大学農学部附属農業教育資料館	〒020-8550 岩手県盛岡市上田3-18-8 ☎ 019-621-6678	入館140円	期間中無休(11~4月の土・日曜、祝日は休館)	日本初の農林学校として明治35年(1902)に開校した旧盛岡高等農林学校。岩手大農学部附属植物園の縁に囲まれた旧本館校舎は、大正元年(1912)に建てられたもので、木造2階建ての欧風建築は国の重要文化財に指定されている。館内は資料館として公開され、農業に関する学術的な資料や文献などを見ることができ、また、6年間ここで学んだ宮沢賢治に関する資料も展示されている。		館長(兼任教授)1, 事務職員1		×実習の受け入れは行っていない。△大学に学芸員課程はある。			国立大学法人博物館等協議会加盟大学	http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/edu/
5	岩手大学	国立	岩手大学農学部附属植物園	〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目18番8号 ☎ 019-621-6103 岩手大学農学部総務係			植物園は、盛岡高等農林学校の創立(1902年)以来、その敷地の東南部に設置され、1905年(明治38年)に現在教育学部が建っている地域北側に移転した。1974年(昭和49年)に大学の整備拡充にともない盛岡高等農林学校の創立当時の植物園・樹木園・校舎敷地を合わせた現在地へ移転。	○相当施設 [1952年(昭和27年)4月文部省告示第13号、1955年(昭和30年)文部省告示第108号]				○植物園自然観察会開催日時; 第2, 第4土曜日			http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/agr/botanic/botanic.htm
6	岩手大学	国立	岩手大学ミュージアム	〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目18番8号 ☎ 019-621-6685 FAX 019-621-6685		8/12-8/16、12/28~1/4を除き毎日開館	ミュージアム本館は、盛岡高等農林学校時代に図書室として使われていたもので、宮澤賢治も在学中に生物学、鉱物学、文学、芸術などの学問を吸収した現場でもある。四つの学部のこれまでの研究業績を整理し、展示・公開するためにミュージアム本館として新たに生まれ変わった。岩手大学でこれまで約100年間に取り組んできた、家畜疾病防遏、東北寒冷地農業に関する研究(農学部)、北上川の治水、利水、環境対策(工学部)など、地域へ貢献した研究業績の紹介や縄文時代、胆沢城、志波城などに関する考古資料(人文社会科学部、教育学部)などを展示・公開している。		×専任の教職員なし。館長、兼任教員、研究員、部門会議委員、事務職員、非常勤受付係解説ボランティアで活動。		×博物館実習は行っていない。△大学に学芸員課程はある。解説ボランティア養成に力を注ぐ。			国立大学法人博物館等協議会加盟大学、農業教育資料館も含む「大学まるごと博物館」	http://www.museum.iwate-u.ac.jp/

7	東北大学 国立	東北大学総合 学術博物館	〒980-8578 宮城県仙台市青葉 区荒巻字青葉6-3 ☎ 022-795-6767	大人 150円, 子ども 80円	月曜日	1994年に理学部自然史標本館の設置が認められ、1995年10月3日に開館し、理学部地学系の資料標本を収蔵し一般公開展示。1998年4月9日に総合学術博物館の組織(教官8名)が認可され、総合学術博物館になる。地学系のスタッフが多いのが特徴。		教授制。 館長1, 教授1, 助教授3, 助手1, 技術員 1		○	×博物館実習 は受け入れた ことがない。 既存学芸員, 教員のリフレ ッシュ教育, 解説ボランテ ィア養成に力 を注ぐ。		国立大学法人 博物館等協 議会加盟大学	http://www.museum.tohoku.ac.jp/
8	東北大学 国立	東北大学史料館	〒980-8577 宮城県仙台市青葉 区片平2-1-1 ☎ 022-217-5040 ☎ 022-217-4998	無料	土、日曜、 祝日・年 末年始	東北大学史料館は、明治40年(1907)の創設以来100年弱にわたる東北大学の記録文書をはじめ、東北大学やその構成員に関する歴史的資料を保存・公開する施設。その目的は、「東北大学の歴史に関係ある資料を収集・保存・公開し、本学および学術文化の発展に寄与する」ことにある。常設展示、企画展示を行う。		教授制。館長 1, 助手 3		○	×博物館実習 は受け入れて いない			http://www.archives.tohoku.ac.jp/
9	東北大学 国立	東北大学植物園	〒980-0862 仙台市青葉区川内 12番2号 東北大学植物園 ☎ 022-795-6760 ☎ 022-795-6766	大人 220円	月曜日	1958年(昭和33年)東北大学に移管。理学部附属植物園として公開。 1972年(昭和47年)国の天然記念物「青葉山」に指定。 1986年(昭和61年)植物園記念館(津田記念館)が完成。 1996年(平成8年)植物園本館を新築。	○相当施設							http://www.biology.tohoku.ac.jp/garden/index.html
10	秋田大学 国立	秋田大学工学 資源学部附属 鉱業博物館	〒010-8502 秋田県秋田市手形 字大沢28-2 ☎ 018-889-2461 ☎ 018-889-2465	大人 250円	月曜日	アンモナイトを思わせる白い円筒形の建物・鉱業博物館に鉱山と鉱石に関する資料や原石等(鉱物・岩石・化石・宝貴石)を展示。「地球の歴史と内部構造」「岩石から大地の歴史を探る」「資源消費と環境汚染」等のコーナーがある。資源・エネルギー・素材の総合化を目指し、多くの人々がもつ地球のことをよく知り、人間と地球が共存してゆくことを考える場を提供。	○1952年(昭和27年)国立博物館相当施設	講師 1, 技術 専門職員 1, ほか事務職員	○	○2005年度は じめて1名 (秋田大学外) の博物館実習 を受け入れた	○鉱業博物館 後援会では鉱 物の標本や誕 生石などのオ リジナル商品 を販売	国立大学法人 博物館等協 議会加盟大学	http://www.mus.akita-u.ac.jp/	
11	山形大学 国立	山形大学附属 博物館	〒990-8560 山形県山形市小白 川町1丁目4-12 ☎ 023-628-4930 (直通)	無料	土曜日、 日曜日、 国民の祝 日、年末 年始	当博物館は、昭和初期、本学教育学部(現、地域教育文化学部)の前進、山形県師範学校に設置されていた「郷土室」を引き継ぎ発足。「山形大学附属郷土博物館」となり、のち「郷土性」を越えるに至ったため、昭和53年「山形大学附属博物館」と改める。特に、近世地方文書に重い比重。	○昭和27年「博物館相当施設」に指定	館長1, ほか学 芸研究員は学 部と兼任6名。 専任非常勤嘱 託職員(有学 芸員)2名	○	○1年に2回 博物館実習。 HPで紹介。 1年に2回、 40名ずつ行っ ている。	○	国立大学法人 博物館等協 議会加盟大学	http://www.lib.yamagata-u.ac.jp/museum/	
12	茨城大学 国立	五浦美術文化 研究所天心記 念館	〒319-1703 茨城県北茨城市大 津町五浦727の2 ☎ 0293-46-0766	200円	月曜日	昭和30年に、北茨城市大津町五浦にある岡倉天心遺跡に設置された茨城大学の研究機関で、日本の近代美術や内外の文化・歴史研究を目的とする。現在の敷地内には天心旧邸や六角堂といった、遺跡を維持し、また昭和38年に建設された天心記念館には数々の天心の遺品や関連資料が展示。		入場料徴収、 維持管理を行 う事務非常勤 職員 2名	○	×行っていない			http://www.ibaraki.ac.jp/izura/index.html	
13	宇都宮大学 国立	宇都宮大学博 物館(仮称)	〒321-8505 栃木県宇都宮市峰 町350 総務課企画広報係 ☎ 028-649-8649			宇都宮大学資料博物館設立準備委員会。2006年11月以降協議開始。			○	○	×		国立大学法人 博物館等協 議会加盟大学	無
14	千葉大学 国立	千葉大学海洋 バイオシステム 研究センター こみなと水族館	〒299-5502 千葉県鴨川市内浦1 ☎ 04-7095-2201 ☎ 04-7095-2271	無料	月曜日と 金曜日	こみなと水族館は、房総の海に棲む生き物にこだわって展示している小さな水族館。世界中から集められた珍しい生き物ではなく、身近な海や生き物に注目。標本室では昭和7年創設当初から今日まで房総で集めた様々な標本を展示。	○相当施設	技術職員 1, (形式的には 4人)	○	×関係ない			http://www.es.s.chiba-u.ac.jp/kominato/aquarium/museum2.html	

番号	大学名	国立私立	博物館名	問い合わせ	入館料	休日	概要	登録有無	専任職員 (教員・学芸員) 有無	大学に学芸員 課程の有無	学芸員養成 との関連性	博物館講座 の実施	ミュージアム ショップ 設置有無	備考	アドレス	
15	千葉大学	国立	千葉大学薬学部薬用植物園	〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学薬学部 TEL/FAX 043-290-2942		土日祝祭日	薬用植物園は薬学部での教育、研究に欠くことのできない施設で、薬学部の敷地内と、県内館山市の二箇所に設置。校内標本園・圃場(6,500㎡)には約950種、暖地性の薬用樹木を中心とした館山圃場(8,500㎡)には約150種の草本樹木類が世界各地より集めて栽培。薬学領域の実践的な教育や研究に供されるかわら薬学部の学園生活に潤いと憩いを与える場となっている。									http://www.p.chiba-u.ac.jp/center/syoku.html
16	電気通信大学	国立	電気通信大学歴史資料館	〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 足立技官 TEL 0424-43-5296 FAX 0424-43-5291	無料	日曜	海外の伝統ある大学には、その歴史を物語る資料館/博物館が設置されてる。前身校である船舶通信士の育成を主な目的とした「無線電信講習所」以来の貴重な資料が永い年月の間、学内に保管されて来た。電通大は1998(平成10)年に、前身校の創設以来80周年を迎え、これを契機に学長の提唱により、遺産を中心にこの「歴史資料館」が開設された。「資料館」は、情報通信の歴史の研究者はもとより、本学と近隣の大学の学生はじめ、とりわけ若い世代を中心とする地域の人びとに開放。				×					http://ssro.ee.uec.ac.jp/lab_tomi/uec/museum/
17	東京海洋大学	国立	東京海洋大学海洋科学部附属水産資料館	〒108-8477 東京都港区港南4-5-7 東京海洋大学品川キャンパス TEL 03-5463-0430	無料	土・日曜日、祭日・年末年始	2003年10月、東京水産大学と東京商船大学は統合し、東京海洋大学となり、これに伴い、名称も東京海洋大学海洋科学部附属水産資料館となり、現在に至る。水産資料館の活動は、大学と社会の連携の一端として、1)水産科学技術に関連した標本類の収集、整備、管理、2)資料の展示・公開、3)教育、研究用の資料の提供、4)学術関連の国際交流を目指す。	○2005年(平成17年)博物館に相当する施設として文部科学大臣から再指定	専任職員(有学芸員資格)1名	○	○学内の学生のみ受け入れている			国立大学法人博物館等協議会加盟大学	http://www.s.kaiyodai.ac.jp/museum/public_html/	
18	東京芸術大学	国立	大学美術館	〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 TEL 050-5525-2200代	一般300(250)円	月曜日	収蔵品は2万8000件余り。昭和45年(1970)に芸術資料部門が独立し、音楽学部には保管されていた音楽学校時代の楽器資料等に加え、芸術資料館が発足。美術・音楽両学部の共同利用機関として、芸術資料の研究・保存・公開のために活動を続ける。しかし所蔵品の増加にともなう収蔵庫が狭隘になり、また老朽化した施設の改善やコレクションの規模に見合った十分な展示空間への要望が学内外から高まったことから、平成8年(1996)に美術館新館が着工。平成10年(1998)に美術館としての活動を発展させるべく、組織を拡充して、芸術資料館から大学美術館となった。			○	○実習を行う		○ショップ・カフェ	国立大学法人博物館等協議会加盟大学	http://www.geidai.ac.jp/museum/	
19	東京工業大学	国立	東京工業大学地球史資料館	〒152-8551 東京都目黒区大岡山2-12-1 TEL 03-5734-2618 FAX 03-5734-3538 東京工業大学理学部地球惑星科学科丸山研究室	無料	土日、祝日	世界各地から集められた貴重な岩石・鉱物が展示。個人研究室が運営。	×	×		×		×	国立大学法人博物館等協議会加盟大学	http://www.geo.titech.ac.jp/maruyamala/b/MEE/	
20	東京工業大学	国立	東京工業大学百年記念館	〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1 TEL 03-5734-3340	無料	土日、祝日	百年の歴史を回顧すると共に、将来に向けての一層の発展を期待する百年事業のモニュメントとして計画。1987(昭和62)年に完成、11月に開館。記念館は、世界的な発明・発見を含む輝かしい東京工業大学の科学・技術の研究や教育の歴史を記録する資料を、将来の発展に役立てるために収集・保存・展示し、活用することを主な目的とする。		非常勤職員数名		×				http://www.libra.titech.ac.jp/cent/welcome.html	

21	東京大学 国立	総合研究博物館	〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 TEL 03-5841-2803	無料	土曜日・ 日曜日・ 祝日（特 別展開催 時は月曜 日休館）	1966年に総合研究資料館（考古、文化人類、人類先史、医学、動物、植物、薬学、岩石・鉱床、地史古生物、鉱山、鉱物、地理の12部門）で発足。1967年考古美術、水産動物、1968年美術史、建築史、森林植物を増設。発足以来、学術標本の収集・整理・保存とその有効活用を使命として活動。1975年学術資料ならびにその保存に関する基礎的研究を追加。1993年には総合研究資料館に研究部と資料部が設置され、学術標本の収集・整理・保存とその有効活用ならびに自然史・文化史を中心とする基礎的研究を遂行することとなり、1996年には総合研究博物館へと改組。		館長1名、専任教員7名、客員教員6名	○	他大学であっても随時受け入れている		国立大学法人博物館等協議会加盟大学	http://www.um.u-tokyo.ac.jp/	
22	東京大学 国立	教養学部美術博物館（駒場学物館内）	〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1 TEL 03-5454-6139 FAX 03-5454-4929	無料	土日、祝日	初代学部長の文系・理系横断型総合教育構想の一環として1951年にスタート。1971年、第一高等学校以来の図書館内部が改造され、展示室はその2階に移り、以後常設展示日は週3日となり、さらに毎年本取藏品を中心に特別展示や、美術・音楽・文学など各分野の講演会を開催。2000年本館本館全体が改装されることになった。1・2階の仕切りを撤去して、建物の中心部分を吹き抜けの大きな展示室とし、その手前を改めて2階建てに改造し、2階を自然科学博物館としたうえで、1階に事務室・セミナー室などを備えて、2003年11月本格的な美術博物館として、リニューアル・オープン。		専任教員なし	○				http://tdglc.u-tokyo.ac.jp/~bihaku/index.html	
23	東京大学 国立	自然科学博物館（駒場博物館内）	〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1 TEL 03-5454-6139 FAX 03-5454-4929	無料	土日、祝日	自然科学博物館は、教養学部での一般教育に資することを目的として、1953（昭和28）年に設置。東京大学総合文化研究科の自然科学系の教官をメンバーとする自然科学博物館委員会（準備委員会は1952（昭和27）年4月発足）によって運営される。		専任教員なし		△大学に学芸員課程がある			http://tdglc.u-tokyo.ac.jp/~bihaku/	
24	東京大学 国立	史料編纂所	〒113-0033 東京都文京区本郷 7丁目3番1号 TEL 03-5841-5997代 TEL 03-5841-5962（図書部） FAX 03-5841-5956代	無料	土、日、休日	東京大学史料編纂所では、現在1階ロビーにおいて、本所の歴史・所蔵史料の紹介・史料保存技術室の活動などに関するパネル展示を行う。		60人以上の教員、技術職員	○	×			http://www.hi.u-tokyo.ac.jp/index-j.html	
25	東京大学 国立	東京大学大学院理学系研究科附属植物園（小石川植物園）	〒112-0001 東京都文京区白山 3-7-1 TEL 03-3814-0138 FAX 03-3814-0139	大人 330円、 小人 110円	年末年始 と月曜日	植物学の教育・研究を目的とする東京大学の教育実習施設。この植物園は日本でもっとも古い植物園であるだけでなく、世界でも有数の歴史を持つ植物園の一つ。約320年前の貞享元年（1684）に、將軍職に就く前の徳川綱吉の白山御殿の跡地に徳川幕府が作った「小石川御家園」がこの植物園の遠い前身であり、園内には長い歴史を物語る数多くの由緒ある植物や遺構が今も残されている。	○相当施設					薬学部附属植物園は、大学設置基準43条「薬学部における薬用植物園の設置義務」により設置	http://www.bg.s.u-tokyo.ac.jp/	
26	東京農工大学 国立	近代農学フィールド博物館（仮称）	〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8 TEL 042-367-5655			東京農工大学農学部博物館設置準備委員会。詳細不明。					△大学に学芸員課程がある		国立大学法人博物館等協議会加盟大学	無
27	東京農工大学 国立	東京農工大学工学部附属繊維博物館	〒184-8588 東京都小金井市中 町2-24-16 TEL/FAX 042-388-7161	一般 240円	日曜・月曜・祝日	繊維博物館は明治19年（1886年）、西ヶ原（現在の北区滝野川）にあった農商務省農務局蚕病試験場の「参考品陳列場」として創設された歴史のある博物館。参考品陳列場はその後の幾多の変遷を経て東京農工大学工学部へと移る。	○昭和27年（1952年）標本室が繊維学部附属繊維博物館として博物館相当施設に認可	○教授制。助手が学芸員を兼ねる。専任職員は助教1名、助手1名、事務2名			○昭和56年（1981年）学芸員課程開講。夏季集中講座で取得。		友の会サークルが12あり、活動している	http://www.tuat.ac.jp/~museum/

番号	大学名 公立私立	博物館名	問い合わせ	入館料	休日	概要	登録有無	専任職員 (教員・学芸員 有無)	大学に学芸員 課程の有無	学芸員養成 との関連性	博物館講座 の実施	ミュージアム ショップ 設置有無	備考	アドレス
28	東京農工大学 国立	畜力農機具資料室	〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8			詳細不明								http://www.tuat.ac.jp/index.shtml
29	新潟大学 国立	新潟大学旭町 学術資料展示 室	〒951-8122 新潟市旭町通2番 町746 TEL/FAX 025-227-2260	無料	月, 水, 金, 日曜	新潟大学旭町学術資料展示館(通称:あさひまち展示館)は,新潟大学所有のさまざまな分野の学術資料の展示・公開を目的で2001年12月にオープン.新潟大学における学術研究の歴史を伝える貴重な資料がある.		×兼任教員1, 図書館職員が 管理担当	○	○基本的に学外 の博物館実習を 勧めているが 無理な学生の実 習を行っている.	×	×	国立大学法人 博物館等協議 会加盟大学	http://www.lib.niigata-u.ac.jp/tenjikan/
30	富山大学 国立	富山大学和漢医 薬学総合研究所 附属民族薬物 研究センター 民族薬物資料館	〒930-0194 富山市杉谷2630 TEL 076-434-7647 FAX 076-434-5064			世界の諸民族の伝統薬物を蒐集,保存,展示するとともに,それらの学術情報を収載したデータベースを構築し,伝統薬物に関する共同研究を推進する.		館長1(兼任), 技術職員1	○	×			国立大学法人 博物館等協議 会加盟大学	http://www.toyama-mpu.ac.jp/rw/mmmw/index-j.html
31	富山大学 国立	富山大学薬学 部附属薬用植 物園	〒930-0194 富山市杉谷2630 TEL 076-434-2281		春(5月) と秋(9月) の年2回 一般公開	薬学部の学生の教育に加えて,薬用植物資源の維持,育種,研究といった活動を積極的に行う.							薬学部附属植 物園は,大学 設置基準45条 「薬学部にお ける薬用植物 園の設置義務 」により設置	http://www.toyama-mpu.ac.jp/ph/herbal/index-j.html
32	金沢大学 国立	金沢大学資料館	〒920-1192 石川県金沢市角間 町(金沢大学附属 図書館内) TEL 076-264-5215 FAX 076-234-4051	無料	土・日曜 日, 祝日 年末年始	資料館は平成元年(1989)4月,学内共同利用施設として設立.設立時の資料を核として新たな資料を収集し,資料の取蔵経緯の解明・資料への考察・資料の目録化・画像データベース化を推進.平成13年度(2001)から大学史料も収集.		館長(兼任), 非常勤職員 (有学芸員資格) 2名	○	△博物館実務 等の実習を行 うことはあるが, 教員がいない ので単位を出 すようなこと はない.正式な 博物館実習は 他の博物館で 行う.			国立大学法人 博物館等協議 会加盟大学	http://web.kanazawa-u.ac.jp/shiryo/top_frame.html
33	金沢大学 国立	金沢大学薬学 部附属薬用植 物園	〒920-1192 石川県金沢市角間 町 TEL 076-234-4491 FAX 076-234-4490		土, 日, 祝日	現在,宝町から角間へ移転中.角間には,薬学部棟の近接地に現在の約3倍の面積の薬用植物園を設け,その中に管理棟,温室,見本園,教育研究用の圃場を造る計画.							薬学部附属植 物園は,大学 設置基準39条 「薬学部にお ける薬用植物 園の設置義務 」により設置	http://www.p.kanazawa-u.ac.jp/yakusou/index.html
34	山梨大学 国立	山梨大学赤 レンガ館	〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37 TEL 055-252-1111		平日.事 前申し込 みが必要.	「赤レンガ館」は,明治42年(1909年)4月,歩兵第四十九連隊(通称甲府連隊)の糧秣庫(食料庫)として使用が開始.第2次大戦後,昭和24年(1949年)12月に跡地は山梨大学学芸部附属小学校・中学校用地となり,平成10年(平成元年),大雪のため建物の一部が破損したのを契機に保存の機運が高まり,耐震工事を施したうえ,平成14年(2002年),当時の面影を残したまま改修.現在,山梨大学教育人間科学部に関わる資料を多数展示.18世紀末の甲府学問所から現在に至るまでの,施設・設備の図や写真,実際に使用された器具・用具,当時を物語る様々な文書,書籍が収められる.		無(総務課が 管理している)	○	×				http://www.yamanashi.ac.jp/akarenga/akarengakan.html

35	山梨大学 国立	水晶展示室	〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37 TEL 055-252-1112	無料	平日・事前申し込みが必要。	甲府市の山梨大学が「水晶展示室」を開館(2005年4月5日)。江戸末期から昭和初期の県内産出の水晶や加工品等、同大のコレクション約130点を展示、目玉は高さ1m、東洋一の単結晶。		無(総務課が管理している)		×			事務局棟2階に水晶展示室がある。詳細は不明	無	
36	信州大学 国立	信州大学教育学部志賀自然教育研究施設	〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町志賀高原 TEL 0269-34-2607 FAX 0269-34-3229		5月から10月末までの毎日8:00~17:00	資料館、ロックガーデン、宿泊施設を備え、自然生態系の仕組みについて実地に研究し学習できる教育園を、志賀高原とカヤノ平の原生林に併置している。	○相当施設	専任教員1		○実施している		○		http://park10.wakwak.com/nagaike/index.html	
37	岐阜大学 国立	岐阜大学教育学部郷土博物館	〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1-1 岐阜大学教育学部 TEL 058-293-2223 FAX 058-293-2207	無料	土曜、日曜、祝日、年末年始 ※事前に電話で予約をする	岐阜大学の教育学部校舎5階にある資料館。昭和27年より収集を続けている資料を数多く展示。近世史料が約3万点、考古出土品は約2000点にも及ぶ。そのほか、県下の郷土資料をはじめ、考古資料、文獻、古文書などを収蔵、展示。	○	×		○		△教育学部の教育活動に使用	×	国立大学法人博物館等協議会加盟大学	無
38	静岡大学 国立	静岡大学キャンパスミュージアム運営委員会	〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷836 静岡大学学術情報部研究協力・情報図書チーム共同施設担当 TEL 054-238-4264 FAX 054-238-4312	無料	火曜、木曜のみ開館	キャンパスミュージアムは、これまで学内のさまざまな場所に残されていた研究資料を整理・保存し、再活用することを目的として、平成8年(1996年)に設立された学内共同施設。大学創立50周年(平成11年)にあわせて公開。		×なし。教員で運営委員会を組織。		○		博物館実習室があり、2006年度から使用が開始された。全学部での使用を促進中。		国立大学法人博物館等協議会加盟大学	http://sakuya.ed.shizuoka.ac.jp/sum/
39	静岡大学 国立	高柳記念館	〒432-8561 浜松市城北3-5-1 TEL 053-478-1004(総務)			浜松高等工業学校(現・静岡大学工学部)で1926年(大正5年)12月、世界で初めてのテレビ実験を高柳健次郎(元教授)が行った。実験で映し出したのは手書きの「イ」の字でした。昭和56年には文化勲章を受章されました。現在もその功績を讃え、静岡大学工学部のあるキャンパスに高柳記念館として展示。	○	×		○		×	×		http://www.shizuoka.ac.jp/v/hamamatsu/13.html
40	名古屋大学 国立	名古屋大学博物館	〒464-8601 名古屋市千種区不老町 TEL 052-789-5767 FAX 052-789-5896	無料	日曜日・月曜日	2000年4月に国内で5番目の総合大学博物館として誕生。名古屋大学所蔵の学術標本・資料、大学における研究成果のフィードバック・資源化・社会還元を総合的にかつ国際的に行うことを目的としている。主なミッションは以下の6つ。研究、次世代教育、展示、知の創造と継承、標本収集、国際交流等。		専任教員7名(教授2, 助教授3, 助手2)		○		○学内の学生のみ博物館実習を行う		国立大学法人博物館等協議会加盟大学	http://www.num.nagoya-u.ac.jp/
41	滋賀大学 国立	滋賀大学経済学部附属史料館	〒522-8522 滋賀県彦根市馬場1丁目1-1 TEL/FAX 0749-27-1046	無料	土・日曜、祝日、年末年始	主に滋賀県下における歴史資料の散逸を防止し、その保存と学術的活用を図ることにより、経済史、経営史及び社会史等の関連諸学の発展に寄与することを目的とする。	○昭和27年博物館法により博物館相当施設として指定	助教授1, 助手1		○		○教育学部の学芸員課程の博物館実習を行う	×	国立大学法人博物館等協議会加盟大学	http://www.biwako.shiga-u.ac.jp/shiryu/index.htm
42	京都工芸繊維大学 国立	京都工芸繊維大学美術工芸資料館	〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎御所海道町 TEL 075-724-7924 FAX 075-724-7920	無料	日祝日	美術工芸資料館は1980年学内共同教育研究施設として設立され、本学前身の京都高等工芸学校創設時(1902年)から教材として収集してきた資料を所蔵し、所蔵資料について教育研究を行い、さらに展示を目的とする施設。		教授1, 助教授1		○		○博物館実習を行う		国立大学法人博物館等協議会加盟大学	http://www.cis.kit.ac.jp/siryokan/

番号	大学名	公立私立	博物館名	問い合わせ	入館料	休日	概要	登録有無	専任職員 (教員・学芸員) 有無	大学に学芸員 課程の有無	学芸員養成 との関連性	博物館講座 の実施	ミュージアム ショップ 設置有無	備考	アドレス	
43	京都大学	国立	京都大学総合博物館	〒606-8501 京都市左京区吉田本町 ☎ 075-753-3272, 3273, 3274 FAX 075-753-3277	一般 400円	月曜日, 火曜日	過去100年間に収集・研究されてきた学術標本資料・教育資料が多数保存されており、その資料点数は250万点にも及ぶ国宝・重要文化財やそれに準ずる文化財、貴重なタイプ標本など、文化史・自然史・技術史の各分野にわたる資料が多数保存されている。しかし今まで各学部や研究所などで個別に保管されており、有機的に活用されていないのが現状である。京都大学総合博物館は、これらの一次資料が適切に設備された施設の中で集中的に保管・管理され、広く学内外の先端研究や教育において活用されることを促進し、かつ、その成果を一般に公開することを目的として設置された。		館長1名、教官9名、事務官4名	○	×	○総合博物館 レクチャー (対象は中学生など)		国立大学法人 博物館等協議 会加盟大学	http://www. museum. kyoto-u.ac.jp /index.html	
44	京都大学	国立	理学研究科附属植物園	〒606-8501 京都市左京区吉田本町 ☎ 075-753-7531(代)	研究教育 のための利 用に限る		大正12年に設置。植物園の管理は理学部植物学教室と附属植物生態研究施設に委ねられてきたが、平成3年度から平成15年度までは植物学教室が中心となって植物園を管理。現在の植物園は、樹木が植えられた林間部、温室、圃場を含んでおり、それぞれ、利用の形態と目的が異なっている。平成9年に植物園の管理作業を担当していた技官が定年退職した後は、技官が補充されず、非常勤職員を雇用することによって最小限の管理。財政難から平成15年より、管理運営の主体を植物学教室から理学研究科に移行し、理学研究科植物園管理運営委員会を設置して、本植物園の管理運営に当たっている。									http://www. rigaku.kyoto- u.ac.jp/ modules/ tinycontent2 /index.php? id=0
45	京都大学	国立	百周年時計台記念館	〒606-8501 京都市左京区吉田本町 ☎ 075-753-2285 FAX 075-753-2286	無料	毎月第1 月曜日休館、 第1月曜日が 祝日の場合第2 月曜日休館	1925(大正14)年に誕生した時計台は、80年近くわたり京都大学のシンボルとして親しまれ続けてきたが、2003(平成15)年12月、創立百周年記念事業の一環として改修、外観や内装の雰囲気はそのままに、「百周年記念ホール」や「国際交流ホール」などを備えた学術交流の場へ、社会への情報発信の場へと変える。歴史展示室、大学文書館がある。					○大学グッズ ショップがあ る			http://www. kyoto-u.ac.jp /top2/11-top. htm	
46	大阪大学	国立	大阪大学総合学術博物館	〒560-0043 豊中市待兼山町1-5 ☎ 06-6850-6111	無料	土・日曜 日・祝日・ 年末年始	「地域に生き、世界に伸びる」博物館を目指し、収集、活用、展示を行う。現在新博物館建設中。新しい博物館の立地は、待兼山の一郭にある、造成済み斜面地の利用が予定される。豊かな里山の自然を残す待兼山全域を「待兼山自然公園」として保存すると同時に、そこに市民に開放された博物館を建設することで、「社会に開かれた大学」の一翼を担う。		教員6名	○	×			国立大学法人 博物館等協議 会加盟大学	http://www. museum. osaka-u.ac.jp /jp/	
47	大阪大学	国立	大阪大学大学院薬学研究科附属薬用植物園	〒565-0871 吹田市山田丘1-6 ☎ 06-6877-5111	非公開		附属薬用植物園は昭和49年に設置され、平成11年には薬学研究科附属施設として改組されている。10,610㎡の敷地を有する附属薬用植物園は薬草園、薬木園、大小の温室、栽培場と管理棟から構成される。国内外の植物約800種が栽培、保存され、薬学の実習教育にも活用されてきた。今後、植物の育種・栽培研究を行う学内共同教育研究施設として高度活用が望まれているという。							薬学部附属植 物園は、大学 設置基準39条 「薬学部におけ る薬用植物園 の設置義務」 により設置	http://www. phs.osaka-u. ac.jp/gaiyou /yakuen. html	
48	神戸大学	国立	神戸大学海事科学部海事博物館	〒658-0022 神戸市東灘区深江 南町5-1-1 ☎ 078-431-3564	無料	土曜日・ 日曜日・ 祝祭日・ お盆・年 末年始	広く海事に関する内外の資料を収集し、展示して、教育と研究の参考に資するとともに、海事思想の普及に寄与することを目的として、昭和33年に海事参考館として設立され、これを発展させ昭和42年に海事資料館となる。平成16年10月5日「海事博物館」と名称変更。					△大学に学芸 員課程がある		国立大学法人 博物館等協議 会加盟大学	http://www. museum. maritime. kobe-u.ac.jp/	

49	神戸大学 国立	山口誓子記念館	〒657-8501 兵庫県神戸市灘区 六甲台町1-1 TEL 078-881-1212			俳人山口誓子の遺品・遺墨の展示が行われる。				△大学に学芸員課程がある							無
50	奈良教育大学 国立	奈良教育大学 学術情報研究 センター 教育資料館	〒630-8528 奈良県奈良市高畑町 TEL 0742-27-9105	無料	土曜日・ 日曜日・ 国民の祝日 及び振替 休日	教育資料館は、我が国の学制発足以降における奈良県下の初等中等教育に関する資料を中心として、教育関係資料を収集、整理し、これを展示並びに保管する。また、これらとともにこれに関連した調査研究を行い、広く教育研究に資することを目的として設置された。明治41年に陸軍第38連隊の糧秣庫として建築され、本学では附属図書館書庫として使用されたのを始めとして、工作実習室、ついで書類・物品倉庫として使用され、このたび教育資料館に改修された。			△兼任	○	×						http://www.nara-edu.ac.jp/LIB/siryokan.htm
51	奈良女子大学 国立	奈良女子大学 記念館	〒630-8506 奈良市北魚屋東町 TEL 0742-20-3220 FAX 0742-20-3205		公開期間 は原則と して、春 季は4月 29日～5 月5日、 秋季は11 月1日～ 11月7日	奈良女子大学記念館は、明治41年(1909年)2月に着工、翌年10月に竣工し、奈良女子高等師範学校本館として、創設当初から一階は事務室、二階は講堂として利用されていた。昭和24年(1949年)に国立奈良女子大学として生まれ変わった後も、この建物は大学本部と講堂として使用されていたが、昭和55年(1980年)に本部管理棟が、昭和58年(1983年)に講堂が、別に新築されたため、平成2年(1990年)に「記念館」と名称を改め、保存することとなった。平成6年(1994年)12月27日に守衛室(附正門)とともに国の重要文化財に指定され、一階は展示室、二階は講堂として活用。											http://koto.nara-wu.ac.jp/kinenkan/default.htm
52	京都大学 国立	京都大学フイ ールド科学教育 研究センター 「白浜水族館」	〒649-2211 和歌山県西牟婁郡 白浜町459 京都大学フイ ールド科学教育研究セ ンター、海域ステー ション瀬戸臨海実験所 TEL 0739-42-3515 FAX 0739-42-4518	大人 500円	年中無休	京都大学をはじめとする生物系の学部を持つ各大学によって、臨海実習施設としても広く利用されている。海洋生物の教育や研究では、野外調査や標本調査に加え、水槽などを利用して生きた状態を観察し、生態・成長・行動・機能などを明らかにすることも重要。そのため実験所の飼育水槽室では、和歌山県沿岸に生息するものを中心に海綿動物から脊椎動物(魚類)に至るまで、様々な海産動物を飼育・展示。この教育・研究用の飼育水槽室を昭和5(1930)年から水族館(京都大学白浜水族館)として一般に公開。	○相当施設	教員5名		○		○					http://www.seto.kyoto-u.ac.jp/setomarin/aquahome/sui.html
53	鳥根大学 国立	鳥根大学汽水 域研究センター 山陰地域資料室	〒690-8504 国立大学法人鳥根 大学汽水域研究セ ンター内 松江西市川津町1060 TEL 0852-32-6099	無料 要予約	祝祭日・ 土曜日・ 日曜日	昭和59年に学内措置で「山陰地域研究総合センター」が設置。このセンターが中心となり昭和62年10月に「山陰地域研究総合センター資料展示室」が開設された。山陰地域研究総合センターおよび汽水域研究センターで蓄積された文献資料・写真・生活用具・遺物・標本等々、多様な研究資料を展示公開し、広く地域の産業・経済・文化の発展に寄与するため公開。			無	○		×		×			国立大学法人 博物館等協議 会加盟大学 http://pm75.soc.shimane-u.ac.jp/indexj.html
54	鳥根大学 国立	鳥根大学ミュ ージアム	〒690-8504 鳥根県松江西市川 津町1060 TEL/FAX 0852-32-6496	無料	土・日・ 祝日	埋蔵文化財調査研究センターが母体。鳥根大学ミュージアムは標本資料類を形知的財産として収集、整理・保管、調査・研究したうえで、展示公開などによる教育普及、情報発信の促進、地域貢献などを行うことを目的とする。また、総合大学である本学の様々な研究室で行われてきた過去・現在の膨大な研究成果、これからの研究展望などを一般市民に分かりやすく情報発信し、社会に開かれた大学の創造を目指す。さらに、本学の前身校も含めた長い学校史を調査研究し、これまでの著名な教員・卒業生の顕彰などを行い、個性的な学風をもつ大学の創造に寄与する。		助手1		○							http://museum.shimane-u.ac.jp/top.html

番号	大学名	公立私立	博物館名	問い合わせ	入館料	休日	概要	登録有無	専任職員 (教員・学芸員) 有無	大学に学芸員 課程の有無	学芸員養成 との関連性	博物館講座 の実施	ミュージアム ショップ 設置有無	備考	アドレス
55	岡山大学	国立	考古資料展示室	〒700-8530 岡山県岡山市津島中 3-1-1 TEL 086-252-1111(代) FAX 086-251-7350	要予約	要予約	軍隊入浴場として使われていた、赤レンガの建物で中央図書館の西側にあり、現在は考古学教室の資料室として使用されている。岡山大学文学部考古学講座や埋蔵文化財調査研究センター調査資料約480点を展示。同大学文化科学系総合研究棟に開設。橋梁(たてつき)墳丘墓特殊器台など時代ごとに紹介。								http://www.okayama-u.ac.jp/user/le/arch/act/muse/muse.html
56	岡山大学	国立	岡山大学薬学部 附属薬用植物園	〒700-8530 岡山市津島中1-1-1 TEL 086-252-1111 (農学部代表)		通常非公開。春と秋の2回一般公開。	昭和53年4月に附属施設となり、1994年度には薬学部公開講座および薬学部創設25周年記念学部公開において、薬草園公開を行った。一方、薬用植物園教官(助手)は、独立した研究として植物組織培養による有用物質の生産に関する研究を行っている。その他、日本植物園協会第四支部(薬用植物園)の「コガネバナの栽培に関する共同研究」(参加21園:1993年から継続中)に参加。		△専任助手1					薬学部附属植物園は、大学設置基準39条「薬学部における薬用植物園の設置義務」により設置	http://www.pharm.okayama-u.ac.jp/lab/yakusou/home.html
57	広島大学	国立	広島大学医学部 医学資料館	〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 TEL 082-257-5099	無料	日・月曜日、祝日、年末・年始	広島大学医学部医学資料館は、昭和53年(1978年)11月2日に国立大学医学部最初の資料館として設置。原爆被爆建物であり被災者の臨時救護所となった旧資料館の外観を尊重し、痛みの少ない東外壁を中心にできるだけ被爆煉瓦や石材を再利用して建替えることになり、平成11年10月に本医学資料館が竣工された。				△大学に学芸員課程がある		×	国立大学法人博物館等協議会加盟大学	http://home.hiroshima-u.ac.jp/ihistmed/
58	広島大学	国立	広島大学総合 博物館	〒739-8522 東広島市鏡山1-2-3 TEL 082-424-6659 FAX 082-424-0320	無料	2006年11月1日開館予定。	自然史、文化史を含む総合博物館。広島大学総合地誌研究資料センターを継承するかたちで誕生。		助手1、任期付学芸職員1	○	×			国立大学法人博物館等協議会加盟大学	無
59	広島大学	国立	医学部附属薬 用植物園	〒734-8551 広島市南区霞一丁目2番3号 TEL 082-257-5606 FAX 082-257-5615			研究用に多様な薬用植物を栽培。植物の成分分析など、広く薬用植物についての研究を行う。							薬学部附属植物園は、大学設置基準39条「薬学部における薬用植物園の設置義務」により設置	http://www.between2.ne.jp/univ/labs-23-1.html
60	山口大学	国立	山口大学経済 学部商品資料館	〒753-8514 山口県山口市大字 吉田1677-1 TEL 083-933-5508 (商品資料館) TEL 083-933-5512 (資料室)	無料	土日、祝日。要事前申し込み。	山口大経済学部には古くから商品陳列室があったが、平成7年にそれを発展的に継承する形で、商品資料館が建設された。商品資料館には、前進である旧制山口高等商業学校が永年にわたって収集してきた主要な産業の商品や重要な貿易商品など、数々の貴重な商品資料が陳列されている。		無	○	×			国立大学法人博物館等協議会加盟大学	http://www.econo.yamaguchi-u.ac.jp/shohin_siryu.html
61	山口大学	国立	山口大学埋蔵 文化財資料館	〒753-8511 山口県山口市吉田 1677-1 TEL/FAX 083-933-5035	無料	土・日・祝日	山口大学では、山口市吉田地区への統合移転を契機として、1967年(昭和42)から吉田遺跡調査団による構内の発掘調査が開始。1973年(昭和48)には移転事業の完了により、およそ8年間にわたった発掘調査もひとまずの終了。この間の発掘調査で多量の遺物が発見され、これらを収蔵することを目的として、山口大学埋蔵文化財資料館の設置が計画され、1978年(昭和53)に設置。		助手2名、非常勤職員2名	○	×	○公開講座		国立大学法人博物館等協議会加盟大学	http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/yuam-w/Shiryoukan.home/

62	徳島大学 国立	附属医薬資源教育センター薬用植物園	〒779-3117 徳島県徳島市国府町日開字北536番地の3 ☎ 088-642-1444		年3回の一般開放以外は非公開	昭和42年4月1日、薬用植物園を開園。薬用植物園はテーマ別に12の区画に分けて管理される。							薬学部附属植物園は、大学設置基準39条「薬学部における薬用植物園の設置義務」により設置	http://www.ph.tokushima-u.ac.jp/?&rf=138
63	香川大学 国立	香川大学博物館	〒760-8521 香川県高松市幸町1-1 ☎ 087-832-1253 (担当黒瀬)			香川大学博物館準備室が設立された。現在は図書館内に準備室がある。		臨時職員1 (有学芸員資格)	○	×			国立大学法人博物館等協議会加盟大学	無
64	愛媛大学 国立	愛媛大学農学部昆虫標本室	〒790-8566 松山市樽味3丁目5番7号			愛媛大学農学部環境昆虫学研究室が管理する。120万頭以上にも及ぶ昆虫標本コレクションを保管。					△大学に学芸員課程がある		国立大学法人博物館等協議会加盟大学	http://web.agr.ehime-u.ac.jp/entomology/
65	九州大学 国立	九州大学総合研究博物館	〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1 ☎ 092-642-4252	無料	土日祝祭日	九州大学総合研究博物館は、九州大学の学内共同教育研究施設。博物館の目標は、学術標本の収蔵・保存、展示・公開はもちろんとして、学術標本を深く調査・分析するとともに、それらに関する研究教育の支援も行い、大学の内外の研究教育活動に寄与すること。		館長1, 教員7	○		○現在、農学部・理学部の学生のみ受け入れている		国立大学法人博物館等協議会加盟大学	http://www.museum.kyushu-u.ac.jp/index2.html
66	九州大学 国立	九州大学薬学府附属薬用植物園	〒811-2415 福岡県粕屋郡篠栗町津波黒大浦394 九大農学部附属演習林内 ☎ 092-947-0089	原則非公開 (見学申込制)	不定	詳細不明。								無
67	長崎大学 国立	長崎大学薬学部附属薬用植物園	〒852-8521 長崎市文教町1-14 ☎ 095-819-2413 ☎ 095-819-2412			詳細不明。		△研究室制					薬学部附属植物園は、大学設置基準39条「薬学部における薬用植物園の設置義務」により設置	http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/lab/plant/index-j.html
68	熊本大学 国立	五高記念館	〒860-8555 熊本市黒髪2丁目39番1号 ☎ 096-344-2111(代)	無料	12月28日～1月4日	明治20年5月、第五高等中学校が設置され、明治27年9月に第五高等学校と改称。嘉納治五郎、夏目漱石など著名人が教鞭を執った建物は、その第五高等中学校の教室として、明治22年(1889年)8月に竣工。全国で赤煉瓦の教室として残存するのは、五高と四高本館のみであり、この英国風(クイーン・アン様式)の建物は化学実験室、正門(赤門)とともに国の重要文化財に指定されている。館内には、当時の貴重な資料を多数保存・展示し、一般公開を行っている。		助教授1 (予定)	○		△今後学芸員養成課程とリンクさせる予定			http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/campusjouhou/gokkou/index.html
69	熊本大学 国立	薬用植物園	〒860-8555 熊本県熊本市黒髪2-39-1 ☎ 096-342-2145(代)		土日、祝日	薬学部の前身である官立熊本薬学専門学校の薬草園(熊葉薬草園)として昭和2年(1927年)に開設。戦前から戦後にかけて、標本園は現在の前庭及び記念館に位置していたが、昭和49年4月に東南の敷地に移転し、附属薬用植物園として始動。		△助教授(園長)1, 技術職員2					ユニバーシティーミュージアム構想に関係有り。薬学部附属植物園は、大学設置基準39条「薬学部における薬用植物園の設置義務」により設置。	http://www.pharm.kumamoto-u.ac.jp/yakusoen/garden.html

番号	大学名	公立私立	博物館名	問い合わせ	入館料	休日	概要	登録有無	専任職員 (教員・学芸員) 有無	大学に学芸員 課程の有無	学芸員養成 との関連性	博物館講座 の実施	ミュージアム ショップ 設置有無	備考	アドレス
70	宮崎大学	国立	宮崎大学農学部附属農業博物館	〒889-2192 宮崎県宮崎市学園 木花台西1丁目1番 地宮崎大学木花キ ャンパス内 TEL 0985-58-2898	無料	土曜・日 曜・祝日 ・年末年 始	当館は本館と分館とに分かれており、本館1階ではミサキウマなどの動物の骨格標本のほか、稲作起源研究の成果を紹介。そして2階では、樹木の材鑑標本や水産・畜産に関する資料、宮崎大学農学部で行われている研究についての展示を行っている。分館には視聴覚機材を備えた講義室・実験室があり、学生や一般の方を対象とした講座や実習を行っている。		助教授1(有 学芸員資格)	○	○農学部、教育文化学部の実習を一部行う	○		国立大学法人 博物館等協議 会加盟大学	http://www. agr.miyazaki- u.ac.jp/ museum/
71	鹿児島大学	国立	鹿児島大学総合研究博物館	〒890-0065 鹿児島県鹿児島市 郡元1-21-30 TEL 099-285-8141 FAX 099-285-7267	無料	毎週日・ 月曜日・ 祝日・年 末年始	平成5年から、大学資料館設置の学内での検討が始まり、数々の検討を経て、平成13年4月、鹿児島大学総合研究博物館が省令に基づく7番目の国立大学博物館として発足。平成16年5月には常設展示室を開設。		教員5名	○	○専任教員が各学部で行われている学芸員資格の授業をバックアップ。10日間の正規博物館実習の補助的役割を果たす。	○		国立大学法人 博物館等協議 会加盟大学	http://www. museum. kagoshima-u. ac.jp/
72	琉球大学	国立	資料館(風樹館)	〒903-0129 沖縄県西原町字千 原1番地 TEL/FAX 098-895-8841	無料	土・日・ 祝祭日・ 年末年始	琉球大学資料館(風樹館)には、学内の研究者が教育や研究活動の一環として収集したものを中心に、約2万点あまりの標本・資料が収蔵されている。資料館はこれらの資料を学内外の方々に有効に活用できるよう標本データベースを作成している。		技官1	○	○学内の実習授業に使用。正規の博物館実習は行わない。			国立大学法人 博物館等協議 会加盟大学	http:// fujukan.lib.u- ryukyuu.ac.jp /
73	福島医科大学	公立	福島医科大学附属学術情報センター展示館	〒960-1295 福島県福島市光が 丘1番地 TEL 024-547-1111代	無料	平日のみ 開館	展示館には本学の教育方針である「自学自習」に則り、自ら学ぶ人々のための標本展示室と視聴覚室が設置されている。標本展示室は医療系学生、教職員、医療従事者の利用を目的としています。一般の方でも真摯な学習を目的とする場合には利用を許可している。								http://www. fmu.ac.jp/lib _index.html
74	静岡県立大学	公立	静岡県立大学薬草園	〒422-8526 静岡県静岡市谷田 52-1 TEL 054-264-5880	無料	土・日・ 祝日	学部の教育に必要な植物の栽培・収穫および研究を行うこと、さらに静岡県民および一般社会人に対して生涯教育の場を提供することを目的に平成元年静岡県立大学の開設と同時に設置。園で栽培されている植物の多くは薬学部の前身である静岡薬科大学の薬用植物園(静岡市小鹿)から移植されたもの。							薬学部附属植 物園は、大学 設置基準39条 「薬学部にお ける薬用植物 園の設置義務 により設置	http:// pharm.u- shizuoka-ken. ac.jp/ yakusou/ Botany_ home.htm
75	愛知県立芸術大学	公立	芸術資料館	〒480-1194 愛知県愛知郡長久 手町大字岩作字三ヶ 峯1-1 TEL 0561-62-1180 内線300 FAX 0561-62-0083	無料	会期中無休	芸術資料館は、法隆寺金堂壁画模写展示館とともに芸術関係の資料の収集・保管及び展示を行い、教育並びに研究に資するための施設。展示については、収蔵資料展、教員展、卒業生作品展等の企画展を行っている。		館長(兼任) 1, 嘱託職員 (有学芸員資格) 1, 事務員2	○	△部分的実習は行うが正規博物館実習は学外の美術館等で行っている。				http://www. aichi-fam-u. ac.jp/%7 eexhibit/ sisetu.html
76	愛知県立芸術大学	公立	法隆寺金堂壁画模写展示館	〒480-1194愛知県 愛知郡長久手町大字 岩作字三ヶ峯1-1 TEL 0561-62-1180 内線300 FAX 0561-62-0083	無料	月曜、 最終日曜 日以外の 日曜	法隆寺金堂壁画模写は、7世紀末から8世紀初め頃に描かれた法隆寺金堂の12面の大壁及び20面の小壁の壁画を本学卒業生も参加して、あわせて16年かけて焼損以前の状態のとおり忠実に再現したものである。教育・研究や地域文化の向上に役立てるため春と秋に一般公開し、高松塚古墳壁画模写、釈迦金棺出現図模写、西大寺十二天像模写、神護寺所蔵肖像画(伝源頼朝・伝平重盛・伝藤原光能・伝文覚上人像)模写、東大寺所蔵俱舎曼荼羅図模写、神護寺所蔵釈迦如来像模写、奈良国立博物館所蔵十一面観音像模写なども特別公開している。		芸術資料館と 同組織	○					http://www. aichi-fam-u. ac.jp/%7 eexhibit/ sisetu.html#2

77	名古屋市立大学 公立	名古屋市立大学薬学部薬用植物園	〒467-8603 名古屋市瑞穂区田辺通3-1 名古屋市立大学薬学部事務室 TEL 052-836-3402 FAX 052-834-9309		非公開 年数回の見学会を開催。	薬学教育の一環として、学生に薬用植物や生薬についての生きた知識を学ばせることを目的に設置。薬局方に記載されている生薬の原料植物を中心に、代表的な薬用植物の収集と栽培を行っており、実物を継続的に観察できる環境を作り、教科書だけでは学びえないことも学べる学習環境を提供。						薬学部附属植物園は、大学設置基準47条「薬学部における薬用植物園の設置義務」により設置	http://www.phar.nagoya-cu.ac.jp/hp/yse/guide-j.html
78	大阪市立大学 公立	理学部付属植物園	〒576-0004 大阪府交野市私市2000 TEL 072-891-2059 FAX 072-891-2101	大人350円	毎週月曜日(ただし休日の場合は開園) 年末年始(12/28から1/4)	昭和25年に大阪市立大学理工学部附属の研究施設として発足。以来、植物学の基礎研究の対象として多くの植物の収集と保存に努めてきた。日本産j樹木の収集に力を注ぎ、野外で生育可能な約450種を植栽し、もってわが国の代表的な11種類の森の型(樹林型)を復元。その他、学問的に重要な外国産樹木や花木、草本類などの展示も行う。これらに加え今日の課題である絶滅危惧植物の保護育成にも積極的に取り組む。植物園は研究の場であるとともに、一般の自然学習や生涯学習の拠点として広く一般にも公開。	○相当施設				○植物観察会が行われている		http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/index.html
79	広島市立大学 公立	芸術資料館	〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号 TEL 082-830-1500代 FAX 082-830-1656	無料	展示開催中のみ、年間8回程度実施。	平山郁夫、久保守、淀井敏夫、喜多俊之、ヴォイ・マジストレッティなど、国内外の作品を、芸術参考品として収蔵。企画展を開催するなどして市民に公開。市立大学における教育研究の参考資料として美術参考品の収集を行う。同時に、芸術資料館棟5階の展示室では、随時、企画展を開催し、一般市民にも開放する。		△館長(兼任)1, 嘱託職員(有学芸員資格)1	○		×学外の実習などを実施		http://www.hiroshima-cu.ac.jp/japanese/UM/museum.html
80	沖縄県立芸術大学 公立	沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館	〒903-8602那覇市首里当蔵町1-4 TEL 098-882-5038 FAX 098-882-5068	無料	展示会が行われている日(会期中は土日祝日も開館)	芸術資料館の収蔵品数は貴重資料で93件、本学卒業修了制作買上作品で82件ある。内訳は、絵画、彫刻、陶磁器、染織、漆器、楽器、その他となっている。特別なコレクションとして、鎌倉芳太郎資料があり、首里城関係写真や紅字型紙、古文書、ノート等がある。また、台湾原住民の織布をあつめた岡村吉右衛門コレクションもユニーク。常設、企画の展示室では、館主催企画展のほか、教員、学生等による企画展が活発に開催され、人間の魂を動かす芸術表現の場として活用。		専任事務1, 嘱託職員(有学芸員資格)1, 嘱託職員(司書)4	○		×正式な実習は行っていない		http://www.lib.okigei.ac.jp/museum/Cover.html
81	札幌学院大学 私立	考古学資料展示室	〒069-8555北海道江別市文京台11番地 TEL 011-386-8111代		月・水・土日	1987年に開設した道内私大初の博物館。北海道先土器時代からアイヌ文化までの史料を展示する道内の私大で最初の博物館。毎年秋には学芸員課程の「博物館実習」の場として学生がテーマを決め、展示史料の取り扱いや梱包、外部から資料を借りる際の文書作成、オープン後の説明、予算内での実践などをすべて学生が実施。展示を通して総合的に学ぶ貴重な実践の場としても活用。			○		○博物館実習展示		http://www.sgu.ac.jp/1_4map.html
82	札幌大学 私立	札幌大学埋蔵文化財展示室	〒062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1 TEL 011-852-1181(3504) FAX 011-836-0215	無料	月火金祝	マンモスの化石から縄文時代まで先史時代の資料を展示。市民に広く開放している。		○学芸員1	○				http://www.sgu.ac.jp/1_4map.html
83	北星学園 私立	百周年記念館	〒064-8523 札幌市中央区南4条西17丁目2 北星学園女子中学・高等学校 TEL 011-561-7153(事務室)	無料	月・水・金曜日(祝日は休館)	旧北星女学校宣教師館。この建物は、婦人宣教師の住居として建てられた。1989年(平成元年)に北星学園の創立百周年を記念して移転改修され、現在は北星学園の歴史と建学の精神を学ぶ場として開放。外壁や屋根の色合いから「かほちゃ館」と呼ばれている。			○		△学芸員課程あり		http://www.hokusei.ac.jp/main/houjin/kinenkan.html

番号	大学名	公立私立	博物館名	問い合わせ	入館料	休日	概要	登録有無	専任職員 (教員・学芸員) 有無	大学に学芸員 課程の有無	学芸員養成 との関連性	博物館講座 の実施	ミュージアム ショップ 設置有無	備考	アドレス
84	北海道医療大学	私立	北海道医療大学薬学部附属薬用植物園	〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757 北海道医療大学薬学部生薬学教室 TEL 01332-3-3791 FAX 01332-2-1338	無料 ※利用の際には薬学部生薬学教室の関崎または本学学務部薬学課まで連絡	土曜、日曜、祝日、年末年始、8月中旬	昭和60年(1985年)に薬学教育と研究の目的で設立。全敷地面積は標本園、栽培園を合わせて3900㎡ある。							薬学部附属植物園は、大学設置基準39条「薬学部における薬用植物園の設置義務」により設置	http://www.hoku-iryō-u.ac.jp/~yakusou/
85	北海道薬科大学	私立	北海道薬科大学付属薬用植物園	〒047-0264 小樽市桂岡町7番1号 TEL 0134-62-5111 FAX 0134-62-516			薬用植物園は、自然の植草とともに標本園として教育用ばかりでなく、実験用の圃場として研究にも利用されている。また標本館には教育用標本が展示されている。							薬学部附属植物園は、大学設置基準39条「薬学部における薬用植物園の設置義務」により設置	http://www.hokuyakudai.ac.jp/
86	武蔵学園(武蔵大学など)	私立	武蔵学園記念室	〒176-8533 東京都練馬区豊玉上1-26-1 TEL 03-5984-3713 (広報) FAX 03-5984-3871	無料	土、日、祝日	武蔵学園記念室の開設(平成6年)、学園創立70周年の記念事業として「武蔵七十年史一写真でつづる学園のあゆみ」武蔵70年のあゆみの刊行と武蔵学園記念室の設置とが企画され、大学・高校同窓生、在学・在校生父母、教職員の多数から、総額9千万円を超える寄付金が寄せられた。記念室はこの後援の結実である。記念室は、武蔵学園に関わる資料を収集整理・保存し、広く学内外に公開展示していくとともに、将来に予定される学園正史刊行への準備・研究等の中心的役割を果たしている。			○	△学芸員課程あり			根津美術館なども関連ある	http://www.geocities.jp/sirakigi/
87	東北学院	私立	東北学院資料室	〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 東北学院資料室(事務室は法人本部広報室と併用) TEL 022-264-6423 FAX 022-264-6478	無料	日曜・月曜・祝日	仙台神学校時代から今日に至るまでの東北学院に関する歴史を将来に伝承するとともに、「建学の精神」に関連する資料を収集・保存・展示し、東北学院の発展に資することを目的として、2001(平成13)年5月15日(本院創立記念日)、土樋キャンパスラー・ハウザー記念礼拝堂階に開設。現在、本院創設の三枝祖(押川方義, W. E. ホーイ, D. B. シュネーター)に関わる写真や資料を中心に常設展示(約200点)のほか、特別展示企画展も併設して実施。			○	△大学に学芸員課程がある				http://www.tuat.ac.jp/%7Emuseum/
88	東北福祉大学	私立	東北福祉大学芹沢けい介美術工芸館	〒981-8522 仙台市青葉区国見1-8-1 TEL 022-717-3318 FAX 022-717-3324	大人300円	東北福祉大学	染色家で人間国宝の芹沢けい介の長男が東北福祉大学に赴任した際、父親の遺志を生かすため、作品とコレクションを寄贈し建設されたもの。「型絵染」と呼ばれる暖かい色使いの着物やのれんの染色作品のほか、装幀本やスケッチを展示する。芹沢けい介が集めた世界各国の工芸品が収蔵。染織品、木工品、土器・土偶、編組品、装飾品、家具など多岐にわたっており、各民族の生活に深く根ざす。	○相当施設		○	△大学に学芸員課程がある				http://www.tfu.ac.jp/kogeikan/j/index.html
89	東北薬科大学	私立	附属薬用植物園	〒981-8558 仙台市青葉区小松島4-4-1 TEL 022-234-4181 FAX 022-275-2013		要事前連絡(土曜、日曜、祝祭日は休園)	昭和14年、前身である東北薬学専門学校発足と同時に現在の中庭、大学院校舎に隣接するあたりに造成されたことに始まる。昭和30年、運動場の完成と共にその北側の、台地を含む2つの場所に移転し、さらに昭和43年、体育館を建設するに際して現在の地のみとなった。							薬学部附属植物園は、大学設置基準39条「薬学部における薬用植物園の設置義務」により設置	http://www.tohoku-pharm.ac.jp/research/yakuso.html

90	常磐大学 私立	博物館学博物館	〒310-8585 茨城県水戸市見和 1-430-1 TEL 029-232-2511 FAX 029-231-6078	無料	土・日・ 祝日・大 学の定め た日	博物館の本質とは何かを探求し、資料の収集、保存、調査研究、展示、教育など博物館活動の独自の方法について科学的に追求する博物館学を研究・教育に役立てることを目的として、2002年11月18日に開館。教員や学生だけでなく一般にも開放。	×	○	○	○	×	http://www.tokiwa.ac.jp/museum/
91	流通経済大学 私立	雪嶺記念資料館	〒301-8555 茨城県龍ケ崎市120 TEL 0297-60-1840 FAX 0297-60-1808 (記念館) TEL 0297-64-0001代	無料	日曜、祝 日	雪嶺、三宅雄二郎(1860年～1945年)は明治から昭和時代前期にかけての総合的ジャーナリストであり、哲学者、歴史家としても多彩な事績を誇る人物。雪嶺翁の嫡孫である三宅立雄氏から学園に対し、雪嶺の遺品や著述に関わる資料等を公開陳列することによって、雪嶺への理解や研究が進むならば、との趣旨で、愛蔵の諸資料の寄贈の申し出があり、資料館を設置。			×		http://www.rku.ac.jp/seturei/index.html	
92	足利工業大学 私立	足利工業大学総合研究センター「風と光のミニミニ博物館」	〒326-8558足利市大前町268-1 TEL 0284-62-0782 FAX 0284-62-9985	無料	火・木・ 土のみ公 開	「風と光の広場」(12,000㎡)は、風の実験、太陽光観測など、本学の自然エネルギーに関する屋外実験場であるが、この広場が小・中・高校の環境教育に役立つテーマパークにもなるよう整備。展示物は、4つのテーマで構成されています。①風のテーマ②光のテーマ③水のテーマ④木のテーマ。各テーマに関する模型や資料などを展示したミニミニ博物館が併設されている。					http://www.2.ashitech.ac.jp/crc/index.html	
93	文芸芸術大学 私立	上野記念館	〒320-0032 栃木県宇都宮市昭和2-5-8 TEL 028-625-5905 FAX 028-621-2929	一般 200円	日曜、祝 日	宇都宮学園の創立者上野安紹先生の遺徳を偲んで建立。1976(昭和51)年に落成。その後、1999(平成11)年には、栃木県より博物館相当館として指定を受ける。郷土ゆかりの作家や歴史資料を中心に、所蔵。また、下野国が文人文化の一端を担っていたとされる江戸時代後期の美術作品も数多く有す。年に3回、企画展が行われる。	○相当施設		○	△大学に学芸員課程ありも詳細不明	http://www.bunsei.ac.jp/dg/kinenkan/index.htm	
94	廣池学園 麗澤大学を 私立	谷川記念館	〒379-1619 群馬県利根郡水上町谷川557 TEL 0278-72-2438 FAX 0278-72-3531		月曜	麗澤大学の創設者、廣池千九郎は「人間の病には、精神の病、経済の病、肉体の病の三つがある」という。谷川は、その中の「肉体」の病を防ぐために、温泉つきの療養施設として、千九郎自身の手によって開かれた。敷地内には、千九郎が最晩年を過ごした部屋が、そのまま残されている。			×		http://www.hiroike-chikuro.jp/chikuro_hall/index.htm	
95	廣池学園 麗澤大学を 私立	大穴記念館	〒379-1619 群馬県利根郡水上町谷川557 TEL 0278-72-2438 FAX 0278-72-3531		月曜	大穴は、廣池千九郎の臨終の地。最晩年、千九郎は谷川温泉で療養しながら研究をしていたが、冬になると積雪が多く交通の便が悪いのが難点であった。そこで、水上駅に近い大穴温泉を求め利用。ここには臨終の間や、最後に入浴した温泉が残されている。			×		http://www.hiroike-chikuro.jp/chikuro_hall/index.htm	
96	跡見学園女子大学 私立	花蹊記念資料館	〒352-8501 埼玉県新座市中野1-9-6 TEL 048-478-0130 FAX 048-478-3554	無料	日曜・祝日	跡見学園女子大学花蹊記念資料館は、平成7年(1995)11月跡見学園の開学120周年及び女子大学創立30周年を記念し、大学の共同教育研究施設として開館。鉄筋コンクリート造り、地上7階建ての女子大学新館一階西側部分(延床面積289.7㎡)に展示室2室、整理・実習室、特別収蔵庫、サービスコーナーを備えている。	○	○	○実習室		http://www.atomi.ac.jp/daigaku/kakei_museum/	
97	共立薬科大学 私立	薬用植物園	〒337-0977 共立薬科大学浦和校舎内 TEL 048-878-0469 FAX 048-878-3648	無料	土、日、 祝日	薬学教育における薬用植物の展示、栽培、研究のため設置。					薬学部附属植物園は、大学設置基準39条「薬学部における薬用植物園の設置義務」により設置	http://www.kyoritsu-ph.ac.jp/guide/urawa_2.html

番号	大学名	国立私立	博物館名	問い合わせ	入館料	休日	概要	登録有無	専任職員 (教員・学芸員) 有無	大学に学芸員 課程の有無	学芸員養成 との関連性	博物館講座 の実施	ミュージアム ショップ 設置有無	備考	アドレス
98	日本工業大学	私立	工業技術博物館	〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1 TEL 0480-33-7545 FAX 0480-33-7570	無料	8月10日～8月20日、12月28日～1月9日、日曜・祝日 ※展示の都合により臨時休館あり。	昭和62(1987)年に学園創立80周年記念事業の一つとしてキャンパス内に開設し、我が国産業の発展に貢献した工作機械等、250台以上の機械を機種別、製造年代順に展示して一般に公開。工作機械の大部分は動態保存であり、かつての町工場も復元。これらの歴史的価値ある機械類に直接触れたり、動かして加工したり、修復したりすることから、新しい発想を生み出せるのが、他大学では類例のない優れた特徴。		○館長の指導のもと、専任職員4名・嘱託技術職員1名・女子嘱託職員2名で運営			○機関車乗車など可			http://www.nit.ac.jp/center/museum/index.html
99	國學院大學栃木短期大学	私立	参考館	〒328-8588 栃木県栃木市平井町608 TEL 0282-22-5511代 FAX 0282-22-5743			参考館は、日本史学科の学芸員課程の参考となる資料展示を目的に設置され、博物館相当施設に認定されている。展示されている資料は、「考古」「歴史」「民俗」の各分野の貴重なものばかり、学生・生徒の見学、学習の場としてだけでなく、広く一般の方にも公開して親しまれている。	○		○	○				http://www.kokugakuintandai/
100	城西大学	私立	城西大学薬学部薬用植物園	〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1 TEL 049-286-2233	無料	臨時的に一般公開	1973年設立。薬学教育の基礎として学生に供覧すると共に、研究材料の栽培ならびに特に重要な薬用植物の試験栽培及び保存。地域社会の教育活動への協力。							薬学部附属植物園は、大学設置基準39条「薬学部における薬用植物園の設置義務」により設置	http://www.josai.ac.jp/~yakuen89/
101	城西国際大学	私立	水田美術館	〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1 TEL 049-271-7711	無料	日・月・祝日、大学休業期間 期間(12～3月)、展示替期間	城西大学水田美術館は、本学の創始者である水田三喜男が生前に蒐集された浮世絵コレクションを母胎として、1979年3月に開館。水田コレクションは、浮世絵を中心に200点余りからなり、浮世絵の発生期から近代日本画に至るまでの発展過程を所蔵作品によってたどることができる。また、稀版画を含む9点の写実作品を所蔵している。当美術館では、浮世絵を鑑賞いただくとともに日本の文化の発展に寄与することを目的として、下記の期間中、特別公開をしている。		○	○		○	△受付にて販売		http://www.jiu.ac.jp/museum/
102	武蔵野音楽大学	私立	楽器博物館 (人間キャンパス博物館)	〒358-8521 埼玉県入間市中神728 TEL 04-2932-2111代	無料	火曜日だけ開館	昭和42年、邦楽器研究者・故水野佐平氏からの貴重な邦楽器コレクションが寄贈されたことを機会に、それまであった楽器資料室を武蔵野音楽大学楽器博物館として改組。現在その所蔵資料は5千点を越え、東洋における最大の楽器コレクションとして内外に知られている。これらは江古田、入間、「バルナソス多摩」において、保管、展示、入間キャンパス博物館には、前記水野コレクションを含む邦楽器、管器・蓄音機類、弦楽器工作具類など、合わせて約1,200点が展示。「バルナソス多摩」内展示室では、テーマにもとづく企画展示が行われている。			○					http://www.musashino-music.ac.jp/plant/museum/index.html

103	立正大学 私立	立正大学博物館	〒360-0161 埼玉県熊谷市万吉1700 立正大学熊谷キャンパス内 TEL 048-536-6150 FAX 048-536-6170	無料	日曜、祝日	大学創立130周年記念として設置。2002年4月1日に開館。博物館の前身は、1932年に大崎キャンパス(東京都品川区)に開設された考古学標本室(後に考古学資料室)と1978年に熊谷キャンパスに開設された考古学陳列室。設置の目的は「歴史・芸術・民俗・産業・自然誌に関する学術資料」を「収集・保管し…広く社会に公開」し「これらを調査研究」すると共に「教育、発展に寄与する」とされ、大学付属博物館としての役割が示されている。大学付属博物館として博物館学講座受講学生の教育の実を挙げるための教育提携をはじめ、学内外の生涯教育分野に対しても広く活用していただく。			○	○博物館学講座受講学生の教育の実を挙げる役割をもつ			http://www.ris.ac.jp/museum/index.html
104	城西国際大学 私立	城西国際大学薬草園	〒298-0216 千葉県夷隅郡大多喜町大多喜486 TEL 0470-82-2165 FAX 0470-82-4988	無料	月曜日	薬草園は、薬用植物に関する正しい知識の普及を目的として千葉県が昭和62年に設立。その後、千葉県より大多喜町に譲渡され、大多喜町より学校法人城西大学が、薬草園の指定管理者として受け、城西国際大学薬学部が管理運営を行っている。	△日博		○				http://www.jiu.ac.jp/aboutjiu/facilities/yakusoen.html
105	東邦大学 私立	東邦大学薬学部付属薬用植物見本園	〒274-8510 千葉県船橋市三山2-2-1 TEL 047-472-0666	通常非公開		約200種類もの薬草が植えられている教育用の見本園の他に薬木園もあり、研究や実習用に活用されている。薬木園は小川と散策路を配した庭園になっており、四季折々の花を楽しむことができ、キャンパスを美しく彩る。							http://www.mnc.toho-u.ac.jp/v-lab/yakusou/yakusou.htm
106	日本大学 私立	歯学部歯学史料資料室	〒271-8587 千葉県松戸市栄町西2-870-1 日本大学松戸歯学部内 TEL 047-368-6111代		(水曜日のみ公開)	故鈴木勝名誉総長が昭和46年5月に開学にあたって、これまで収集された史料を展示するために、病院棟3階に設けられた資料室が始まり。展示されている史料は、谷津三雄研究所教授の献身的努力によって収集したものを中心に、故今田見信医歯薬出版会長はじめ、同窓の皆様や関係者の方々から寄贈されたもの。			○				http://www.mascats.nihon-u.ac.jp/tosyokan/siryousitu.htm
107	日本大学 私立	薬学部付属薬用植物園	〒274-8555 千葉県船橋市習志野台7-7-1 TEL 047-465-2111代	原則非公開		薬用植物園は、開設(昭和29年設置:昭和43年現在地へ移転)以来、「実学実習としての機能を充実させた施設」を主目標に整備が行われている。通路にはすべて芝を敷き詰められ、学生はこの腰を下ろしての植物観察等、落ち着いた雰囲気を実習を受講できる。各薬用植物につけられたラベルには植物名等通常項目のほか、薬用部位・薬用用途を記載するようになっている。現在薬用植物・有用植物約1300種が栽培されている。			○			薬学部附属植物園は、大学設置基準39条「薬学部における薬用植物園の設置義務」により設置	http://www.pha.nihon-u.ac.jp/kosei.html
108	廣池学園 私立	廣池千九郎記念館	〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1 TEL 04-7173-3023	無料	日曜、祝日	廣池学園(麗澤大学など)創設者廣池千九郎の没後24年の昭和37年開館。内容は、廣池本人の遺品や著書、遺稿、遺墨、写真などを当時の社会情勢の説明とともに立体的に展示しており、それによって廣池の生涯と業績を知り、その志を感得できる仕組みになっている。				×			http://www.hiroike-chikuro.jp/chikuro_hall/index.htm
109	和洋女子大学 私立	和洋女子大学文化資料館	〒272-8533 千葉県市川市国府台2-3-1 TEL 047-371-1111 TEL 047-371-2494 (資料館)	無料	日曜日・祝日 大学の休暇中 展示替えの期間	キャンパス内の発掘調査で出土した遺物の展示・公開のため、昭和53年4月、小さな資料室が大学内に設置。翌年には博物館学芸員課程が開設され、その充実、埋蔵文化財や学園所蔵の各種の貴重な資料を公開するために、総合的名称をもつ文化資料館が、平成4年4月に開館。平成13年6月、文化資料館は大学東館17階に移り、施設・設備をリニューアルし、学園史展示・常設展示・企画展示の部門を設けて新たなスタート。ここでは、考古・歴史・民俗資料をはじめとして、百年をこえる伝統をもつ和洋学園が所蔵する服飾・手芸作品関係や書蹟、古美術などの資料の公開を行っている。	○相当施設		○	○実習施設			http://www.wayo.ac.jp/facilities/collection/index.html

大学番号	国立私立	博物館名	問い合わせ	入館料	休日	概要	登録有無	専任職員 (教員・学芸員) 有無	大学に学芸員 課程の有無	学芸員養成 との関連性	博物館講座 の実施	ミュージアム ショップ 設置有無	備考	アドレス
110	私立	青山学院資料センター	〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25 ☎ 03-3409-8626 青山学院資料センター(臨時移転先: 相模原キャンパス) ☎ 03-3409-6742 ☎ 03-3409-8134	大学図書館などの紹介が必要	国民の休日、年末年始、青山学院が定める休日	約130年にわたる青山学院の歴史資料の収集・保管のほか、下記1～6の資料の収集・公開。 1. 明治期キリスト教関係図書 2. メソジスト教会関係資料 3. キリスト教会史 4. キリスト教関係者伝記 5. 全国キリスト教主義学校史 6. 明治期英語・英文学関係図書			○				http://www.aoyamagakui.n.jp/mcenter/	
111	私立	上野学園音楽資料室	〒110-8642 東京都台東区東上野 4-24-12 ☎ 03-3842-1021代			所蔵資料は「古楽器ウエブミュージアム」 http://www.uenogakuen.ac.jp/data/museum.html で公開。上野学園では楽器研究室において、昭和50年発足以来、17, 18, 19世紀ヨーロッパにおける音楽に重要な役割を果たした楽器の収集と研究を行っている。							http://www.uenogakuen.ac.jp/info/index.html	
112	私立	史料館	〒171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1 ☎ 03-3986-0221 内線6569 ☎ 03-5992-9219	無料	日曜日	1975(昭和50)年、史料の収蔵、整理・保存と公開を行うことを目的として設置。現在、収蔵している史料は、中世以来続く公家・地下官人、近世から近代にかけての大名・華族や大名家家臣や幕臣、また村の名主家史料、および近代から現代にいたる学習院関係者史料などで、総件数はおよそ13万件。うち、整理や調査・研究を終えた史料群については、『学習院大学史料館収蔵史料目録』、『学習院大学史料館紀要』によって、その成果を公表。また仮整理段階にある史料については、常設展示・特別展示を利用して、公開に努めている。史料館の事務室・閲覧室は1909(明治42)年に竣工した建物内。			○館長1, 助手1, 学芸員5		×		http://www.gakushuin.ac.jp/univ/ua/	
113	私立	北里柴三郎記念室	〒108-8642 東京都港区白金五丁目9番1号 社北里研究所北里本館1階 ☎ 03-3444-6161代 ☎ 03-5791-6103(内) ☎ 03-5791-6274	無料	金曜日～日曜日 祝日 年末年始	北里研究所は1964(昭和39)年に創立50周年を迎え、その記念事業の一環として北里柴三郎の業績を顕彰するために記念館の設立を計画し、資料の収集活動を開始。当時、北里研究所に保管されていた資料と北里家をはじめとする関係者の協力を得て収集した資料を基にして、小規模ながら3号館(研究棟)の1階に展示室を設けたのが、現在の記念室の発端となる。その後、1980(昭和55)年の北里本館改築時に4階の一室を資料室としたが、手狭なため1998(平成9)年、新たに現在の場所に「北里柴三郎記念室」と改称して移設し、それを機に一般公開。			○		○		http://www.kitasato.or.jp/kinen-shitsu/	
114	私立	総合文化研究所	(八王子) 〒193-8501 八王子市元八王子町1-710 ☎ 0426-61-9110 (神田一ツ橋) 〒101-8437 千代田区一ツ橋2-2-1 ☎ 03-3237-2598		不定休	共立女子大学総合文化研究所は人文・社会・自然諸分野の学問を、学際的な提携によって総合的・統合的に捉え直そうという時代的要請と、「学園が国際化に対応するため学術交流や共同研究を強く促進していく」という学園長・石橋義夫の期待に答える形で1992年4月1日に創立。総合文化研究所では神田キャンパス・八王子キャンパスにおいて様々な展示を行う。			○				http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/sobunken/	

115	国立音楽大学	私立	楽器学資料館	〒190-8520 東京都立川市柏町 5-5-1 国立音楽大学4号 館5階	無料	水曜のみ 開館	昭和41年、ルネッサンス・バロック音楽の演奏研究に必要な楽器の購入が発端。文部省科学研究費で基本的な弦・管楽器27点が整え、42年、日本音楽研究の資料充実のために、雅楽、能、箏曲などの楽器約30点とその他に鍵盤楽器4点などが加わった。124点の楽器が収集され、非公開ではあったが展示室も完備した。昭和52年から楽器展示室は学内にむけて毎週一日公開。53年には新しく増築された現在の音楽研究所内に、展示場と、収蔵庫及び研究室が設けられて、楽器の収集・展示はより充実した。昭和55年度、楽器資料館と改称、次いで昭和63年に楽器学資料館となった。					○小学生対象 イベント			http://www.gs.kunitachi.ac.jp/j_index.html
116	国学院大学	私立	神道資料館	〒150-8440 東京都渋谷区東4- 10-28 TEL 03-5466-0210	無料	月曜・水 曜・金曜 のみ開館	昭和38年(1963)5月、大学の創立80周年記念事業のひとつとして、皇典講究所礼典課収集資料を中心に、「神道学資料室」を開設。昭和53年(1978)5月、機構を改め、「神道資料展示室」となる。平成2年(1990)4月、「神道資料館」と改称。								http://www2.kokugakuin.ac.jp/sntmuse/
117	國學院大學	私立	國學院大學考 古学資料館	〒150-8440 東京都渋谷区東4 丁目10番28号 TEL 03-5466-0249 FAX 03-5466-0250	無料	平成18年 5月～平 成20年4月 まで(予定)、 一時閉館	昭和3年(1928)4月、当時國學院大學の学部学生であった樋口清之博士が、奈良県内において蒐集された考古資料約4,000点を國學院大學に寄贈したことに開設の端を発する。	○昭和27年 (1952)12月博 物館相当施設 に指定					×	http://www2.kokugakuin.ac.jp/kokogaku/	
118	国際基督教大学	私立	国際基督教大 学博物館湯浅 八郎記念館	〒181-8585 東京都三鷹市大沢 3-10-2 TEL 0422-33-3340 FAX 0422-33-3485	無料	日曜・月 曜・祝日	初代学長湯浅八郎博士を記念して1982年建設された博物館。主な収蔵品は湯浅博士が収集した日本の陶磁器、染織品、木工品約5,300点と、学内で発掘された先土器から縄文時代にかけての石器、土器、敷石住居址の復元模型などの先史時代の遺物です。常設展示のほか、年に3-4回特別展、公開講座を開催。	○相当施設	○学芸員				○	http://subsite.icu.ac.jp/yuasa_museum/index.html	
119	駒澤大学	私立	禪文化歴史博 物館	〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1駒澤大学キ ャンパス内 TEL/FAX 03-3418-9614	無料	土・日・ 祝	禪の文化と歴史をテーマとした「常設展示」と、「企画展示」、「大学史展示」で構成される「禪文化歴史博物館」が、一般に公開。東京都から歴史的建造物に指定されている「耕雲館」が2002年6月から博物館となったもの。		○学芸員				○	http://www.komazawa-u.ac.jp/~zenbunka/	
120	実践女子学園	私立	香雪記念資料 館	〒191-8510 東京都日野市大坂上 4-1-1 TEL 042-585-8873代			平成11年に創立100周年記念として香雪記念館が建設。同年香雪記念館の一郭に香雪記念資料館を設置決定。平成12年資料館としての最初の企画展を開催。平成16年、博物館相当施設の指定を受ける。昭和42年に博物館学課程を開講し、昭和55年に美術資料展示室を発足。昭和60年、文学部に美学美術史学科が開設、この展示室は当学科に受け継がれ、名称を日本・東洋美術展示室に。美術史の研究に役立つ資料の収集と展示だけでなく、学芸員資格修得に必要な授業と実習も行われてきた。2つの展示室、学芸員室、実習室、収蔵庫などを備え、1年に5回ほどの企画展示を計画。	○	△学芸員室あり				○	http://www.jissen.ac.jp/sonoma/a03a12a04/a03a12a04a02/	
121	昭和女子大学	私立	光葉博物館	〒154-8533 東京都世田谷区太 子堂1-7 TEL 03-3411-5099 FAX 03-3411-5302	無料	日、祝日	光葉博物館は、平成6年に、設立。研究館1階に主な展示室、2階に小展示室を設ける。博物館活動としての展示は、学内の様々な学問分野の教育の中で、研究成果の発表の場として、教育・研究資料の理解の場として、役立つことは勿論、それと並んで、展示を社会に公開して、地域社会に対する情報発信の場としても、生涯にわたる教育を担う地域に根ざした大学としても、博物館活動が役立つものとしている。また、学芸員資格取得のために必要な館務実習の現場として、博物館の担うべき基本業務である、文化財、教育資料等の保存管理などについても研修を行う。	○					○	http://www.swu.ac.jp/museum/floor.html	

番号	大学名	国立私立	博物館名	問い合わせ	入館料	休日	概要	登録有無	専任職員 (教員・学芸員) 有無	大学に学芸員 課程の有無	学芸員養成 との関連性	博物館講座 の実施	ミュージアム ショップ 設置有無	備考	アドレス
122	昭和大学	私立	昭和大学薬用植物園	〒142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8(ほか) ☎ 03-3784-8000 (大代表)			旗の台薬草園(東京都品川区旗の台),薬草園管理室・生薬標本室(〒142-8555東京都品川区旗の台1-5-8),富士吉田薬草園(山梨県富士吉田市上吉田)からなる。		△教授制, 教授1, 常教授, 講師1						http://www.10.showa-u.ac.jp/mpgarden/
123	昭和薬科大学	私立	昭和薬科大学薬用植物園	〒194-8543 東京都町田市東玉川学園3丁目3165番地 ☎ 042-721-1585 ☎ 042-721-1596	無料	毎週土曜日を一般公開日	薬学部学生に,生きた教材を用いた実践的指導を行う場を提供するため,日本薬局方取載品を中心に代表的な薬用植物を栽培.また,新しい植物の収集にも努めている。							薬学部附属植物園は,大学設置基準39条「薬学部における薬用植物園の設置義務」により設置	http://www.shoyaku.ac.jp/j-home/yakuyou/default.html
124	杉野服飾大学	私立	杉野学園衣裳博物館	〒141-8652 東京都品川区上大崎4-6-19 ☎ 03-3491-8728	個人一般200円	日曜, 祝日, 夏季休暇, 年末年始	杉野学園創始者,故杉野繁一,芳子夫妻が自ら欧米諸国で収集した服飾資料が常設展示として公開。「目で見る西洋服装史」として,見どころとする.もちろん日本衣装や民族衣装も合わせて展示し,世界の服飾文化を紹介。		○	○	○実習室				http://www.costumemus.eum.jp/
125	成城大学	私立	民俗学研究所	〒157-8511 東京都世田谷区成城6-1-20 ☎ 03-3482-9097, 9098 ☎ 03-3482-7763	無料	土日祝祭日	民具(約250点),郷土玩具(約1,500点),写真等の民俗資料を所蔵しており,特別展の折々に展示.資料の公開については,秋季(学園文化祭の頃)に,民俗学研究所展示ホールで「特別展」を開催.テーマは,柳田國男関係あるいは郷土玩具関係で一般公開。			○		○公開講座あり			http://www.seijo.ac.jp/research/minken/index.html
126	大東文化大学	私立	大東文化歴史資料館(大東アーカイブス)	〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1 ☎ 03-5399-7319 (広報)			大東文化歴史資料館(大東アーカイブス)(以下「資料館」)は,学園及び大学を始めとする設置校の歴史に関する調査及び研究並びに校史に係る資料の収集,整理,保存及び公開を行い,もって学園及び設置校の発展に資することを目的とする。			○					無
127	玉川大学	私立	玉川大学教育博物館	〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1 ☎ 042-739-8111(代)	無料	土曜日,日曜日,祝祭日	玉川大学教育博物館(玉川大学小原國芳記念教育博物館)のはじまりは,玉川学園が創立された1929年のわずかな教材標本にある.1969年,創立40周年を記念して大学図書館内に「教育博物館資料室」を設置し,さらに内容の充実と展示室の拡大を図って1987年に「玉川大学教育博物館」が開設し,1996年開設10周年を機に大学附置機関に改組移行された。	○相当施設		○	○博物館実習生の指導(学芸員資格取得を目指す本学の学生を対象に博物館実習の場として活用している)	○紀要ほかオリジナルグッズ			http://www.tamagawa.jp/research/museum/index.html
128	多摩美術大学	私立	多摩美術大学美術館	〒206-0033 東京都多摩市落合1-33-1 ☎ 042-357-1251 ☎ 042-357-1252	一般300円	毎週火曜日	大学院開設(1964年修士課程)に伴う教育施設拡充の一環として附属美術参考資料館の名称で現上野毛キャンパス図書館内に併設された.八王子キャンパスへの移転に伴い当館も移設され,1982年には博物館相当施設の指定を受ける.以来,一般の方々にも広く利用される.また,1994年4月より「多摩美術大学附属美術館」に名称を変更.そして2000年4月より多摩市の多摩センター地区に移設し,「多摩美術大学美術館」として学外での美術館活動を始めた。	○	○	○	○	○		生涯学習重視	http://www.tamabi.ac.jp/museum/default.htm

129	朝鮮大学校 私立	朝鮮大学校記念館朝鮮歴史博物館	〒187-8560 東京都小平市小川町1-700 TEL 042-341-1331代 FAX 042-344-1300	非公開、 学園祭のみ公開		創立25周年に際して祖国から贈られてきた5百数十点の歴史遺物、各種模型、写真資料などを通して、原始時代から近代にいたるまでの朝鮮文化の発展過程を順をおって展示。									http://www.korea-u.ac.jp/main.htm
130	朝鮮大学校 私立	朝鮮自然博物館	〒187-8560 東京都小平市小川町1-700 TEL 042-341-1331代 FAX 042-344-1301			朝鮮自然博物館は、歴史博物館とともに大学創立25周年を記念して卒業生たちの愛校心により1982年3月に建てられた「記念館」の中にある。館内には、祖国から贈られてきた二千数百点におよぶ朝鮮の地下資源や、岩石類、化石類、動植物標本、それにわが国の地形と自然分布図や模型などが整然と展示されており、一般にも広く公開されている。									http://www.korea-u.ac.jp/main.htm
131	津田塾大学 私立	津田梅子資料室	〒187-8577 東京都小平市津田町2-1-1 TEL 042-342-5219 FAX 042-342-5249	無料	土日、祝日	津田梅子資料室は、1980年創立80周年記念事業の一つとして、星野あい記念図書館(丹下健三設計、1954年完成)を増築した際、その2階部分に付設、学内の数ヶ所に置かれていた創立者津田梅子の資料を一ヶ所に集めるためであった。さらに、1984年早春に本学本館屋根裏から発見された梅子の書簡を含む大量の文書類を収蔵。創立100周年を記念して、分散教育システム・リサーチ・センター内の資料室として改修され、図書館の2階に、2000年4月、事務・作業・閲覧室、展示スペース、収蔵室・1、2を備えた現在の資料室となった。					×				http://www.tsuda.ac.jp/ja/umeko/umekosir.html
132	東京家政学院 私立	東京家政学院生活文化博物館	〒194-0292 東京都町田市相原町2600 TEL 042-782-9811代	無料	土日、祝日	家政研究所(大正12年大江スミ先生により創設)の精神を受け継ぐ生活文化博物館は、衣服・装身具・工芸品をはじめ、各種民俗資料や貴重な歴史的遺物などの実物資料を、収集・保管・調査研究・展示。	○相当施設				○				http://www.kasei-gakuin.ac.jp/shisetu/machida_campus_museum.html
133	東京家政大学 私立	東京家政大学博物館	〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1(百周年記念館4・5階) TEL 03-3961-2918	無料	日曜、祝日、 年末・年始 (12月25 日～1月 10日)	昭和44年4月1日本館の前身である「資料室」が大学図書館内に設置される。昭和56年5月20日百周年記念館4・5階に「東京家政大学生生活資料館」として開館。その後、資料収集に努める。平成5年12月21日博物館相当施設の指定を受ける。平成9年4月1日国の重要有形民俗文化財に指定されている。渡辺学園裁縫雛形コレクションのほか、本学園の創立以来の歴史や食に関する模型などの展示。	○相当施設	職員(有学芸員資格)3、 嘱託職員(有学芸員資格)4、 アルバイト4名			○				http://www.tokyo-kasei.ac.jp/hakubutu/
134	東京交通短期大学 私立	交通資料館	〒170-0011 東京都豊島区池袋本町2-9-1 TEL 03-3971-4704 FAX 03-5951-1890	無料	(月曜日のみ)	豊昭学園(東京交通短期大学・昭和鉄道高校・豊島学院高校)では、下記車輛を所蔵。西武鉄道3号機、丸の内線500形685号など。運転シミュレーター館があり、JR仙台教習所の研修で実際に使われていた設備を移設しています。運転台は2種類あり、クハ455とクハ205タイプです。ブレーキに連動するエア音等もリアルで、ドアの開閉操作も行える。									http://www.hosho.ac.jp/toukou/ins_facility.html
135	東京純心女子大学 私立	純心ギャラリー	〒192-0011 東京都八王子市滝山町2-600 TEL 042-692-0326 FAX 042-692-5551	無料	日曜・祝日・ 展示替え 期間・大 学事務局 休業期間、 他	大学付属のミュージアム施設。1997年4月にオープン以来、学芸員課程の実習の場として、また一般市民に開かれたアート・ギャラリーとして運営。年に春秋2回の特別企画展と各学科関連イベント、ギャラリーの所蔵品展、学芸員課程の学生たちによるグループ企画展、初春には卒業制作展を実施。	○学芸員				○				http://www.t-junshin.ac.jp/univ/gar/index.html

大学番号	国立私立	大学名	博物館名	問い合わせ	入館料	休日	概要	登録有無	専任職員 (教員・学芸員) 有無	大学に学芸員 課程の有無	学芸員養成 との関連性	博物館講座 の実施	ミュージアム ショップ 設置有無	備考	アドレス	
136	私立	東京女子医科大学	大学史料室・吉岡彌生記念室	〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1 ☎ 03-3353-8111代	無料	第3土曜、日、年末年始	創設者である吉岡彌生・荒太夫妻の業績を始め、教員や卒業生など、本学に関する歴史資料を収集、調査研究するため、1966(昭和41)年に中央校舎2階に開設。1970(昭和45)年には吉岡彌生記念室を併設し、収集した資料の一部を展示公開し、年に1回特別展示も行なう。また、本学の歴史や女子医学教育史を調査する利用者へのレファレンスサービスも行なっており、事前連絡があれば、所蔵資料・図書類の閲覧が可能。				×				http://www.twmu.ac.jp/U/facilities/f06yayoi.html	
137	私立	東京造形大学	東京造形大学附属横山記念マンズー美術館	〒192-0992 東京都八王子市宇津貫町1556 ☎ 042-637-8111代 ☎ 042-637-8110代	無料	授業実施週 要事前連絡	ジャコモ・マンズーは、現代具象派を代表するイタリアの彫刻家。本美術館は、1986年八王子の医師故横山達雄氏より寄贈されたジャコモ・マンズーの作品(彫刻5点、版画23点)から出発。1994年、本美術館開館式に来日されたインゲ・マンズー夫人のご好意により寄贈された彫刻5点、版画8点が新たに加えられ、充実したコレクションになってきました。建築は白井晟一氏の設計原案に基づいている。			○	○				http://www.zokei.ac.jp/school/museum/index.html	
138	私立	東京農業大学	「食と農」の博物館	〒156-8502 東京都世田谷区上用賀2-4-28 ☎ 03-5477-4033 ☎ 03-3439-6528	無料	月曜日	体験型博物館、東京農業大学「食と農」の博物館は、隣接する(財)進化生物学研究所の動植物コレクションを一堂に集めた展示温室“バイオリウム BIORIUM”と融合、一体の施設として公開。相当施設であり、博物館実習施設である農業資料室を包括している。	○相当施設			○	○	○	○ショップ・カフェ		http://www.nodai.ac.jp/syokutonou/
139	私立	東京薬科大学	薬用植物園	〒192-0392 東京都八王子市堀之内1432-1東京薬科大学庶務課 ☎ 042-676-7306 ☎ 042-676-6609 (薬用植物園)	無料	日曜・祝日、大学の休暇期間(8月中旬、年末年始)	植物園は薬用植物に関する教育と研究を目的として設置されましたが、現在では見本園と温室、自然観察路は学生や来訪者のために開放。面積は4万1千平米あり、東京都で一番広い薬用植物園になっている。						○定期的に「薬用植物公開講座と薬用植物園見学会」を開催	薬学部附属植物園は、大学設置基準39条「薬学部における薬用植物園の設置義務」により設置	http://www.toyaku.ac.jp/plant/index.html	
140	私立	東京理科大学	東京理科大学近代科学資料館	〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3 ☎ 03-5228-8224	無料	日、月曜、祝日	東京理科大学近代科学資料館は、本学創立110周年を記念して平成3年11月に建設。江戸時代の和算書から始まり、多くの算木、そろばん、機械式計算器、電気式計算器、電子式卓上計算器(電卓)、そして、電子計算機にいたる、『計算機の歴史』を中心とした展示を行っている。								http://www.tus.ac.jp/info/setubi/museum.html	
141	私立	東洋大学	井上円了記念博物館	〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20 ☎ 03-3945-8764	無料	日曜、祝日、年末年始	東洋大学の歴史は1887(明治20)年に創設された哲学館にさかのぼり、創立者・井上円了が唱えた「諸学の基礎は哲学にあり」という建学の精神は現在に脈々と受け継がれている。井上円了記念博物館はこのような建学の精神を学内外に広くアピールすることなどを目的として、2005年4月に井上記念館内に設置。学内のみならず、社会に開かれた大学の博物館として、展覧会や講演会を通じて、地域社会の多様な学習ニーズにこたえるための施設。	○相当施設		○	○5Fに実習室				http://www.toyo.ac.jp/museum/	

142	日本女子大学	私立	成瀬記念館	〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1 TEL 03-3943-3131(代)	無料	日、月、祝日	創立80周年記念事業の一環として、1984(昭和59)年に竣工。正門奥の左手に建つ赤煉瓦のロマネスク調の建物。本学の創立者成瀬仁蔵の教学の理念と学園の歴史を明らかにし、広く女子教育の進展に寄与することを願って設立。内部には記念室・理想室、展示室、図書閲覧室などがあり、展示室では年4回ほどの展示替により、主に学園史を中心とした資料の紹介をおこなっている。学園の文書館、博物館として、様々な活動をおこなっているが、博物館相当施設に指定されており、学園外の方々でも自由に入館することが出来る。	○	○学芸員、司書	○	△大学に学芸員課程がある				http://www.jwu.ac.jp/institution/naruse/outline/index.html
143	日本大学(芸術学部)	私立	芸術資料館	〒176-8525 東京都練馬区旭丘2-42-1 TEL 03-5995-8315	無料	日曜日、祝祭日	日本大学芸術学部の歴史は、大正10(1921)年、法文学部の中に美学科が誕生したときからはじまり、第二次世界大戦という芸術教育にとって最も苦難な時代をへながらも、芸術総合学部として今日に至っている。この間に研究・教育のための資料として写真、映画、美術、音楽、文芸、演劇、放送、デザインに関する多くのものを収集。芸術資料館は、このような芸術に関する資料の収集をはじめ、その保管、展示ならびに調査・研究を行い、併せて教職員、学生、および一般の利用に供することを目的として設立。			○	△大学に学芸員課程がある				http://www.art.nihon-u.ac.jp/am/am_index.html
144	日本大学	私立	日本大学資料館(準備中)	〒102-8275 東京都千代田区九段南4丁目8-24 TEL 03-5275-8336(代)			創設110余年にわたる長い時の流れの中で、苦難や試練、人間の組織集団において不可避に生ずる愛憎や葛藤(かっとう)、そして、これらの事態に処した先達の精神の構えを、抽象的、観念的に捉(とら)えるのではなく、資料館として収集した数多の資料を検証し、日本人としての節度をもって、さきの紀要に叙述することにより、歴史認識に立脚した真の愛校心の育成を目指す。資料館準備室は機関誌「費誌」を発行し、創設準備をすすめている資料館の成果内容を紹介。	○		○					無
145	文化学園(文化女子大を)	私立	文化学園服飾博物館	〒151-8529 東京都渋谷区代々木3-22-7 新宿文化クイントビル1階 TEL 03-3299-2387 FAX 03-3299-2602			文化学園服飾博物館は、1979年(昭和54年)に開館し、2003年に学園創立80周年を記念して新博物館が完成。すぐれた実物資料による教育・研究をめざし服飾の専門博物館を設置することは、学園の創設当初より構想され、資料の収集が積極的に進められてきた。現在、年4回展示替えを行ない、テーマを設けて館蔵品を順次紹介し、秋の特別展には多くの優品が展示。	○相当施設		○	○文化女子大などの学芸員のみならず幅広く使用				http://www.bunka.ac.jp/museum/hakubutsu.htm
146	法政大学	私立	沖縄文化研究所	〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1(ボアソナードタワー21階) TEL 03-3264-9393 FAX 03-3264-9335	無料	土、日、祭日	1972年7月1日沖縄が日本に復帰した年に中村哲所長を中心に研究活動が開始。中野好夫氏が、私費を投じて主宰していた沖縄資料センターの資料を無償で法政大学に移管し研究所設立。沖縄を中心に琉球列島と中国、東南アジア諸国、韓国の文化、歴史、言語について、総合的な比較研究を行うために設立された。現在では、沖縄研究の世界的広がりこたえて、国の内外の研究者を結ぶ、情報ネットワークセンター的役割を果たしている。			○	○資格課程と連携して企画展を開催				http://www.hosei.ac.jp/fujimi/noken/

番号	大学名	国立私立	博物館名	問い合わせ	入館料	休日	概要	登録有無	専任職員 (教員・学芸員) 有無	大学に学芸員 課程の有無	学芸員養成 との関連性	博物館講座 の実施	ミュージアム ショップ 設置有無	備考	アドレス	
147	星薬科大学	私立	星薬科大学薬用植物園	〒142-8501 東京都品川区荏原 2-4-41 TEL 03-3786-1011	無料 ※学外の方は大学正門横の警備室および園内職員に見学の旨申し出てください。	日曜日・祝祭日・大学の休業期間。	1941年(昭和16年)星薬学専門学校開校とともに、現地に薬用植物園設置。本学学生が直接生きた教材で学べるだけでなく、都心には他にこのような施設が見られないところから、学外の方々にも広く利用されている。									薬学部附属植物園は、大学設置基準39条「薬学部における薬用植物園の設置義務」により設置 http://polaris.hoshi.ac.jp/kyougaku/campus/yakusoen/index.htm
148	武蔵野音楽大学	私立	楽器博物館 (江古田キャンパス博物館)	〒176-8521 東京都練馬区羽沢 1丁目13-1 TEL 03-3992-1121代		水曜日だけ開館	昭和42年、邦楽器研究家・故水野佐平氏からの貴重な邦楽器コレクションが寄贈されたことを機会に、それまであった楽器資料室を武蔵野音楽大学楽器博物館として改組。現在その所蔵資料は5千点を超え、東洋における最大の楽器コレクションとして内外に知られる。これらは江古田、入間、「バルナソス多摩において、保管、展示、江古田キャンパス博物館では、ヨーロッパの鍵盤楽器、管弦楽器の名器、弦楽器の名弓コレクションをはじめ、世界各国の伝統楽器、民族楽器を公開。			○						http://www.musashino-music.ac.jp/plant/museum/index.html
149	武蔵野音楽学園 (武蔵野音楽大学) 学芸員本部	私立	武蔵野音楽学園記念室	〒176-8521 東京都練馬区羽沢 1-13-1 武蔵野音楽学園広報企画室 TEL 03-3992-1121代	無料	日曜、祝日	創立70周年の記念事業の一環として、武蔵野音楽学園記念室の改修を行った。江古田キャンパスにある記念室では、本学の創立者福井直秋の偉業や、わが国の音楽教育草創期からの歴史を、分かり易く展示。			○						http://www.musashino-music.ac.jp/plant/memory/index.html
150	武蔵野美術大学	私立	美術資料図書館	〒187-8505 東京都小平市小川町 1-736 TEL 042-342-6003	無料	美術館は日曜/民俗資料室は毎週火曜日・木曜日のみ公開	美術資料図書館は、美術・デザインを中心とする造形分野の総合専門大学である武蔵野美術大学の、情報資料センターとしての役割を担うものとして、1966年(昭和41)、従来の付属図書館を改組転換する形で出発。図書館・博物館(美術資料・民俗資料)の複合施設。			○	○	○				http://www.musabi.ac.jp/library/
151	明治学院	私立	明治学院歴史資料館	〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37 TEL/FAX 03-5421-5170		土曜日、日曜日、祝祭日、学院の創立記念日(11月1日)	この歴史資料館は以前の広報室(1972-80年)、広報史料室(81年)、図書館図書課史料室(82-90年)の後を受け継ぐものである。時代的要請にともなって、パソコンを活用した資料整理などの電腦資料館をめざすところ、また、本格的な資料館としての業務が期待されるところが従来とは異なる。「明治学院歴史資料館」は、1998年開設当初よりこれら歴史的資料の収集とデータ・ベース化・形態変換などを進め、今後の公開にむけて準備をすすめている。		△研究員がいる	○					〈利用資格〉 1) 本学院学生、院生、2) 本学生徒、3) 本学教職員、4) 卒業生、元教職員、5) 学院関係資料利用者、6) 大学図書館などからの紹介者	http://www.meijigakuin.ac.jp/siryokan/

152	明治大学 私立	明治大学附属博物館	〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1ア카데미コモン地階 TEL 03-3296-4448 FAX 03-3296-4365	常設展無料. 特別展は有料の場合あり.	夏期休業日(8/10~16) 8月19日(土) 8月20日(日) 冬季休業日(12/26~1/7)	明治大学博物館は、建学の精神である「権利自由」「独立自治」にもとづき、博物館としての学術研究の成果を公開し、みなさんの学習に供することを目的としている。私たちの博物館には3つの部門があり、それぞれ異なる由来もっている。商品部門は「商品博物館」を前身として商品を通した生活文化のあり方を、刑事部門は「刑事博物館」を前身として法と人権を考える。考古部門は「考古学博物館」を前身とし、人類の過去と多様性を取り上げている。	○	○	○	○	○	○	私学初のユニバーシティ・ミュージアム、1995年の文部省(当時)学術審議会中間報告を契機に、国立大学で先行して整備されてきた新しい型の大学付属博物館	http://www.meiji.ac.jp/museum/
153	明治薬科大学 私立	明薬資料館	〒204-8589 東京都清瀬市野塩2-522-1 TEL 042-495-8942(前)	無料	日・祭日	明薬資料館は、創立者恩田重信(剛堂)先生の偉業を記念して設立。収蔵資料の内容は、剛堂先生関連資料をはじめ、江戸時代から続いた薬舗に伝わる製薬道具などの薬業資料を集めた「大原薬業資料」、および貴重な生薬標本と薬学関係資料などで、現在、その一部を展示して一般に公開。館内には、常設展示室と集会室が設けられ、集会室では所蔵ビデオの視聴ができる。				×				http://www.3.my-pharm.ac.jp/Museum/SilverStream/Pages/pgMain.html
154	明治薬科大学 私立	明治薬科大学付属薬用植物園	〒204-8588 東京都清瀬市野塩2-522-1 TEL 0424-95-8906	無料	団体見学事前に連絡.	薬用植物園では、日本薬局方に収載されている基原植物が栽培されている。							薬学部附属植物園は、大学設置基準51条「薬学部における薬用植物園の設置義務」により設置	http://www.my-pharm.ac.jp/herb/index.html
155	立教大学 私立	学芸員課程標本室資料展示室	〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1社会教育講座学芸員課程担当 TEL 03-3985-2575			詳細不明				○				無
156	早稲田大学 私立	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 TEL 03-5286-1829	原則無料	不定休	演劇博物館は、1928(昭和3)年10月、坪内逍遙博士が古稀の齢(70歳)に達したのと、その半生を傾倒した「シェクスピア全集」全40巻の翻訳が完成したのを記念して、各界有志の協賛により設立。以来、演劇博物館には日本国内はもとより、世界各地の演劇・映像の貴重な資料を揃えている。錦絵46,000枚、舞台写真200,000枚、図書150,000冊、その他衣装・人形などの資料52,000点をあわせて、数十万点にもおよぶ膨大なコレクションは、70年間培われた「演劇の歴史そのもの」といえる。演劇人・映画人ばかりでなく、文学・歴史・服飾・建築をはじめ、様々な分野の方々の研究に貢献。			○	○			http://www.waseda.jp/enpaku/	
157	早稲田大学 私立	早稲田大学會津八一記念博物館	〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 TEL 03-5286-3835(前) FAX 03-5286-1812	無料	日曜・祝日・8月全日	1998年5月に開館。建築史的に資料価値の高い二号館・旧図書館の保存公開と合わせて、會津八一(1881~1956)は東洋美術の研究者のコレクションの保存、公開を行う。			○		△大学に学芸員課程がある			http://www.waseda.jp/aizu/index-j.html
158	神奈川大学 私立	日本常民文化研究所参考室	〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL 045-481-5661(代) FAX 045-413-4151	無料	展示開催は不定期.	常民参考室は、本研究所の調査研究活動の成果や所蔵資料を、講義だけではない、さまざまな形で社会に還元する目的で、2002年に設置。不定期に企画展を行っている。また常設展示を行う構想が進展中。			×	○	△実習を行うが、博物館実習施設ではない	○公開講座あり		http://jominken.kanagawa-u.ac.jp/index.html

番号	大学名	国公立私立	博物館名	問い合わせ	入館料	休日	概要	登録有無	専任職員 (教員・学芸員) 有無	大学に学芸員 課程の有無	学芸員養成 との関連性	博物館講座 の実施	ミュージアム ショップ 設置有無	備考	アドレス
159	北里大学	私立	北里大学薬学部附属薬用植物園	〒228-8555 神奈川県相模原市北里1-15-1 ☎ 042-778-9308	無料	日曜,大学の休日。 ※一般の入園希望の際は、事前に申し込み、書類提出が必要。	1972年,薬学部大学院博士課程の設置を機に,大学附属施設として相模原キャンパス内にスタートした。	△日博	△教授制。園長は教授が兼任			○薬用植物栽培・加工体験講座		薬学部附属植物園は,大学設置基準39条「薬学部における薬用植物園の設置義務」により設置	http://www.clas.kitasato-u.ac.jp/bio-garden/
160	女子美術大学	私立	女子美術ミュージアム	〒228-8538 神奈川県相模原市麻溝台1900 ☎ 042-778-6801(直) ☎ 042-778-6815	500円	火曜	女子美術ミュージアムは,本学卒業生や本学ゆかりの作家の作品を中心に,その他,画家の書簡,ポスター,工芸品等を収蔵,1990年(平成2年),相模原キャンパス3号館4階に女子美術大学美術資料館が開館,2001年(平成13年)9月,相模原キャンパスの女子美術大学創立100周年の記念棟(10号館)1階に,新たに女子美術ミュージアム(略称JAM)として生まれ変わった。これまでの活動を引き継ぐと共に,新たに学外にも開かれた文化交流の場となるよう,校門とは別に市立相模原麻溝公園側に入り口を設け,多くの市民に親しまれ愛される施設として展示活動。		○	○	○	○			http://www.joshi.ac.jp/jam/
161	帝京大学	私立	帝京大学薬学部附属薬用植物園	〒199-0195 神奈川県津久井郡相模湖町寸沢嵐1091-1 ☎ 042-685-1121(代)		土日祝祭日(事前申し込み)	薬用植物園は研究機能を重視した存在であるばかりでなく創設以来植物学に造詣の深いスタッフを配置してきており,名実ともに薬用植物園としてふさわしい内容をもつ,本学キャンパスに隣接した約11,000平米の敷地に教育用見本園,研究用栽培圃場,温室,ケシ園及び管理棟が設置され,750種以上の薬用植物が植栽されている。その中にはわが国ではここだけという珍しい植物も含まれている。			○				薬学部附属植物園は,大学設置基準39条「薬学部における薬用植物園の設置義務」により設置	http://www.pharm.teikyo-u.ac.jp/lab/yakuyo/index_ie3nn3.html
162	東海大学	私立	松前記念館	〒259-1292 神奈川県平塚市北金目1117東海大学湘南校舎 ☎ 0463-58-1211(代)	無料		東海大学建学40周年を記念して設立されたもの。学校史,創立者松前氏の業績紹介。	○	×	○	○	×	△館内に喫茶店がある		http://www.kinenkan.utokai.ac.jp/
163	東京農業大学	私立	植物園	〒243-0034 神奈川県厚木市船子1737 ☎ 046-247-4433(代)	無料	土,日,祝日	自然生植物98種520余種,有用植物155科1,220余種を保存・育成,18haの用地内には,200余品種のツバキ,98余品種のウメ,200余種の薬用植物や,いろいろな造園緑化用樹木が植栽されている。他の植物園にはない植物の原種なども豊富に保有,珍しい植物を見ることができ,農学科,醸造科学科,生産環境工学科,造園科学科,国際農業開発学科,食品科学科,生物生産技術学科,環境緑地学科が主に使用。	○		○		○			http://www.nodai.ac.jp/facilities/farm/frames.html
164	日本大学	私立	生物資源科学部博物館	〒252-8510 神奈川県藤沢市亀井野1866 ☎ 0466-84-3892	無料	日曜日・祝日	型動物の骨格標本を多く展示。中学・高校の理科教員を対象とした理科実験セミナーを年2回開催(ウシ・ヤギの解剖・染色体の観察など。毎回内容は変わります)。野外観察会の実施(バードウォッチングなど)。	○相当施設		○				江ノ島水族館と提携している	

165	フェリス女学院	私立	フェリス女学院資料室	〒231-8660 横浜市中区山手町178 TEL 045-662-4511 FAX 045-651-4630	無料	土曜日・日曜日	創立以来の学院に直接、間接的に関係ある資料・文献などを収集、整理して学院内外の研究に役立てることを目指している。 フェリス女学院沿革資料とは ・学院関係者諸資料・記録等 ・キリスト教関係書籍 ・女子教育・学校史関係書籍				×学芸員課程なし			http://www.ferris.jp/gakuin/siry.html
166	新潟薬科大学	私立	新潟薬科大学薬学部附属薬用植物園	〒956-8603 新潟県新潟市東島265-1 TEL 0250-25-5000 FAX 0250-25-5021			(新潟キャンパス)新潟キャンパスにある温室など、実習などで使用される様々な薬用植物が栽培。 (五頭分園)新潟県阿賀野市にある五頭山麓いこいの森の一角にある。豊かな自然に囲まれた植物園。毎年新入生が研修に訪れる。						薬学部附属植物園は、大学設置基準39条「薬学部における薬用植物園の設置義務」により設置	http://www.niigatayakudai.jp/contents/about/estab/#薬草
167	北陸大学	私立	北陸大学薬学部附属薬用植物園	〒920-1181 石川県金沢市金川町ホ3 TEL 076-229-1165代		原則非公開	薬用植物及び薬用植物関連植物を栽培している所、役割は、教育、研究、薬用植物としての種の保存を目的。						薬学部附属植物園は、大学設置基準39条「薬学部における薬用植物園の設置義務」により設置	http://www.hokuriku-u.ac.jp/yakugaku/yakusoen2/index.html
168	文化学院 <small>(美術文化学院)</small>	私立	ルヴァン美術館	〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉957-10 TEL 0267-46-1911 FAX 0267-46-1910	入館800円	毎週水曜日(祝日時は翌日)	97年7月に開館した文化学院所縁の美術館。軽井沢の文化学院寮に隣接し、文化学院が誕生した時の校舎を再現。英国のコーゼン風に西村伊作が設計した楽しい建築と庭園が広がる。美術館では文化学院の歴史や学院に所縁のある作品を見ることができる。					○ショップとカフェがある		http://www.levent.or.jp/
169	文化学園 <small>(文化女子大をこ)</small>	私立	文化学園北竜湖資料館	〒389-2322 長野県飯山市大字瑞穂7332-2文化北竜館 [いいやま北竜温泉内湯の宿] TEL 0269-65-3121	一般200円	水曜日(祝日の場合は翌日休館) 冬期休館(11月初旬～翌4月中旬)	全国の郷土玩具約700点を展示建物は、飯山市愛宕町の商家(江戸後期と推定)を移築したもので、カヤブキ屋根の均整のとれた美しい姿。復元にあたっては、床の間・座敷・茶の間・板の間等、1階6室、2階3室はそのまま再現し、他の部屋は展示室に改造。	○相当施設					文化学園経営の宿泊施設文化北竜館 [いいやま北竜温泉内湯の宿]に管理されている	http://www.bunkahokuryukan.com/
170	岐阜女子大学	私立	デジタルミュージアム	〒500-8813 岐阜市明徳町10番地 杉山ビル4F 岐阜女子大学文化情報研究センター内 TEL 058-267-5237	無料	毎週土・日曜日/祝日	岐阜女子大学デジタルミュージアムは、文化情報をデジタルアーカイブ化し、館内での展示(提示)およびその一部をインターネット、CD等で流通させるバーチャルミュージアムとして平成12年に設置。			○	○		デジタル情報に関してアーキビスト養成に力点を置く	http://dac.gijodai.ac.jp/
171	岐阜薬科大学	私立	岐阜薬科大学薬草園	〒502-8585 岐阜市三田洞東5-6-1 TEL 058-237-3931代 FAX 058-237-5979	無料	祝日、振替休日および8月は休園(4月～10月のみ公開)	薬草の生産のためや研究材料とするためにたくさんの植物を集めて栽培。最近の健康志向と生涯学習の普及に伴い市民から強い要望があり、本園の一般公開。ここでは、生涯学習とともにボランティア活動が盛ん。岐阜市周辺での薬草情報も手に入れることもできる。					○薬草料理 薬草講座 薬草ウォッチング 栽培情報 ハーブ講座 アロマテラピー情報	薬学部附属植物園は、大学設置基準39条「薬学部における薬用植物園の設置義務」により設置	http://www.gifu-pu.ac.jp/topics/yakusou.htm

番号	大学名 公立私立	博物館名	問い合わせ	入館料	休日	概要	登録有無	専任職員 (教員・学芸員) 有無	大学に学芸員 課程の有無	学芸員養成 との関連性	博物館講座 の実施	ミュージアム ショップ 設置有無	備考	アドレス
172	高山自動車短期大学 私立	高山自動車短期大学飛騨自然博物館	〒506-8577 岐阜県高山市下林町1155 ☎ 0577-32-4440	無料	日曜、祝日	大学内にある図書館、博物館を無料で開放。飛騨の生い立ちを岩石、鉱物、化石など実物資料や、写真などで振り返ることができるほか、現在の自然をレプリカ、実物標本などを用いて表現。また、予約をすると自然学習会、自然教室に参加できる。					○			http://www.takayamacoll.ge.ac.jp/index.html
173	東海大学 私立	自然史博物館	〒424-8620 静岡県静岡市清水区三保2389 東海大学社会教育センター ☎ 0543-35-7095 ☎ 0543-34-2385	自然史・海洋科学博物館共通 1,800円	年末(12月25日)～年始(1月1日) 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)	東海大学自然史博物館は、1981年10月に恐竜化石骨格の展示を主体とする「恐竜館」として開館し、つづいて1983年5月に地球や生物のおいたちについての展示を主体とする「地球館」を併設。1993年1月には2階展示場を開設し、全館を1つの流れとして展示を新たに。さらに、2002年1月には旧人体科学博物館の建物に移設して、リニューアル。	○		○					http://www.muse-tokai.jp/
174	東海大学 私立	海洋科学博物館	〒424-8620 静岡県静岡市清水区三保2389 東海大学社会教育センター ☎ 0543-35-7095 ☎ 0543-34-2386	自然史・海洋科学博物館共通 1,800円	年末(12月25日)～年始(1月1日) 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)	東海大学海洋科学博物館は、海の科学をわかりやすく説明し、海のことを知ってもらうために「海のはくぶつかん」として、1970年にオープン。東海大学では、これにさきだつ1962年、我が国唯一の海洋学部を開設し、海洋に関する科学技術の教育研究に先鞭をつけた。海洋科学博物館は、海洋学部の教育研究に利用するとともに、海洋科学に関する知識を広く皆さんに提供することを目的としている。	○		○		○			http://www.muse-tokai.jp/
175	常葉学園 私立	常葉学園歴史資料館	〒420-0911 静岡県葵区瀬名1丁目22番1号 ☎ 054-263-1125 ☎ 054-263-2750			静岡女子高等学院開学以来、学園内に保存されていた写真、一般紙に掲載された学園関係の記事・印刷物などを展示し、学園関係者をはじめ市民の方々にも、常葉学園が歩んできた歴史の一端を知っていただくことと公開。			○					http://www.tokoha.ac.jp/rekishi/rekishi-top.htm
176	常葉学園 私立	常葉美術館	〒439-0019 静岡県菊川市半済1550 ☎ 0537-35-0775	無料	土・日曜、祝日	常葉学園大学内にある美術館で、江戸時代の日本画と洋画の作品を中心に収蔵している。春と秋に、約1カ月にわたって開催される特別企画展では、彩色や線など作家の個性に迫るものから、一定地域の作家に焦点を絞ったものまで、さまざまなテーマで特別展を開催する。			○					http://www.tokoha.net/museum/
177	廣池学園 私立	畑毛記念館	〒419-0111 静岡県田方郡函南町畑毛 ☎ 0559-78-3078 ☎ 0559-78-3078		月曜	廣池千九郎が『道徳科学の論文』を執筆したときの部屋が、そのまま保存されている。千九郎は「神様のお手伝いを命をかけてした部屋を門下生にのこしたい」と考えていた。その遺志を受けついで整備されたのがこの記念館。								http://www.hiroike-chikuro.jp/chikuro_hall/index.htm
178	愛知大学 私立	総合郷土研究所	〒441-8522 豊橋市町畑町1-1 愛知大学総合郷土研究所 ☎ 0532-47-4160 ☎ 0532-47-4190		日曜・祝日 日定休	愛知大学が生まれ育った“ふるさと、東海地方の文化や地域社会の研究のために設立され、文学や歴史学、社会学、地理学など多面的な見地からさまざまな検証を試みている。現在ではフィールドを広げ、東海5県(愛知・岐阜・三重・静岡・長野)を対象に、より総合的な研究を進めている。考古学的な活動や古文書の蒐集・整理・解読をはじめ、所蔵する資料の復刻刊行などを行っている。東海5県の資料所蔵数は近隣では随一で、全国的に活用されている。また、弥生時代の土器や、さまざまな学術的資料を取めた資料館を併設し、展示会を開催して公開。			○		○			http://taweb.aichi-u.ac.jp/kyodoken/index.html

179	愛知大学	私立	中部地方産業研究所付属産業資料館	〒441-8522 豊橋市町畑1-1 TEL 0532-47-4111代			愛知大学中部地方産業研究所付属資料館。東三河の漁村や農村に残された民具を集めた附属生活産業資料館は学生の実習にも活用されており、一般にも公開。				○	○実習施設			http://www.aichi-u.ac.jp/institution/04.html
180	中部大学	私立	民俗資料室	〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200 TEL 0568-51-1111代	無料	祝日および土・日・月曜日	1984年に国際関係学部が創設されて以来、その研究と教育の一環として、世界の民俗資料が収集されてきた。民俗資料室は、それらの収集品を学内また広く学外に向けて公開する展示スペース。コレクションは、国際関係学部の教員が研究のフィールドワークの折に少しずつ集めてきたものを核にして形成されたもの。				○				http://www.chubu.ac.jp/organization/facilities/museum/
181	南山大学	私立	南山大学人類学博物館(沼沢記念博物館)	〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18 TEL 052-832-3111 (内445)	無料	日・祝日・大学の事務休日(年末年始など)、2月の入試期間	1949年(S.24)に人類学研究所の陳列室として出発し、その後、昭和54年に独立・公開。本来の目的が研究や教育のための資料館であり、整ったきれいな展示ではない。しかし4つの展示室やロビー・廊下等には様々な資料を展示してある。なお、当館は学生の博物館実習(学芸員養成の科目)の場でもあるので、展示の変更、整備中のこともある。また、非常勤職員の手で運営しているため、至らない点も多いことを了承下さい。	○相当施設		×	○	○博物館実習(学芸員養成の科目)の場	○人類学博物館では、大学院生の手によるパネル展などを実施		http://www.nanzan-u.ac.jp/MUSEUM/index2.html#kai
182	皇學館大学	私立	神道博物館	〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704 TEL 0596-22-0201代 FAX 0596-27-1704	無料	日曜日、国民の祝日、振替休日、神宮神嘗祭(10月17日)、年末年始	神道・神社の紹介を通して日本の文化と歴史・伝統・信仰・思想等を内外に伝えていくことをめざし、大学の附置機関として設置。伊勢神宮を中心とした周辺の文化遺産の中には、日本の歴史を研究する上で貴重なものも多く、神道関係と共にこうした文化資料も幅広く収集。学生や教員の学習・研究活動に役立っている。また本学の歴史に関する資料も豊富。				○	○実習施設	○		http://www.kogakkan-u.ac.jp/hakubutukan.html
183	池坊短期大学	私立	池坊短期大学むろまち美術館	〒600-8491 京都市下京区四条室町鷺鈴町 TEL 075-351-8581 TEL 075-351-0348(直)	一般 300円	毎週月曜日	京友禪、西陣織などを育ててきた染織の町、四条室町の中心に誕生したカレッジ・ミュージアム。京都そして日本の伝統文化に関わる美術工芸品を収集、保存、展示し、それを本学の教育・研究の一環として生かしてゆくとともに、それらを広く市民に公開することによって、より大きな関心と理解を育て、心を慰めることのできるスポットとして、市民の中に定着を狙う。				○	△短大に学芸員補のコースがあるも詳細不明			http://www.ikenobo-c.ac.jp/muromachi/ike_muromachi.htm
184	大谷大学	私立	大谷大学博物館	〒603-8143 京都市北区小山上総町 TEL 075-432-3131代 FAX 075-411-8153代	一般・大学生 200円	月曜、日祝、本学の定める休日	大谷大学は、大学開設330年余、2001年には近代化100周年を迎えた。近代化100周年の記念事業として建設した「真宗総合学術センター響流館」の中に、博物館は設置。2003年10月7日、京都府より博物館相当施設の指定を受け、2003年10月14日(火)より、一般公開を開始。大谷大学開設以来の歴史と伝統と、先学の苦心に支えられ、真宗・仏教・歴史・文学・芸術など広範囲にわたる貴重な資料を12,000点余所蔵。博物館は、これらの文化資産を広く公開する拠点として活動。また、真宗・仏教文化財の収集・研究を中心とした、特色ある博物館をめざして活動を行う。	○			○	実習室がある			http://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/
185	京都嵯峨芸術大学	私立	京都嵯峨芸術大学附属博物館	〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1 TEL 075-864-7852(直) FAX 075-881-7133	無料	月曜日	人間の歴史には多くの美が存在している。多種多様な造形のおもしろさを知り、新しい創造の糧にさせていただくことをコンセプトに展示を行っている。また、芸術学部の学生に対して、学芸員資格取得の実践現場としても活用される。	○相当施設		○	○	○			http://www.kyoto-saga.ac.jp/art_institution/museum/index.php

番号	大学名 公立私立	博物館名	問い合わせ	入館料	休日	概要	登録有無	専任職員 (教員・学芸員) 有無	大学に学芸員 課程の有無	学芸員養成 との関連性	博物館講座 の実施	ミュージアム ショップ 設置有無	備考	アドレス
186	京都精華大学 私立	京都国際マンガミュージアム	〒604-0846 京都市中京区両替町通御池上る金吹町452番地 元京都市立龍池小学校敷地内 TEL 075-254-7411 FAX 075-241-3006			京都精華大学と京都市の共同事業。生涯学習・文化・観光・産業振興など、幅広い分野で限らない可能性を秘める「マンガ」の研究・人材育成・学習・収集・展示等の機能を備えた日本初の総合機関。			○					http://www.kyotomm.com
187	京都薬科大学 私立	附属薬用植物園	〒601-1405 京都市伏見区日野林39 TEL 075-573-5103 FAX 075-572-7952	研究教育のための利用に限る		昭和43年に設立。土質は薬用植物栽培にとって最良で、約1,100種の薬用植物が、約13,016㎡の敷地に植えられ、規模は日本でもトップクラスであり、他所では見られない珍しい薬用植物も多数栽培されている。							薬学部附属植物園は、大学設置基準39条「薬学部における薬用植物園の設置義務」により設置	http://www.kyoto-phu.ac.jp/labo/mpgkpu/gmp-hpj.htm
188	同志社大学 私立	同志社大学歴史資料館	〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都合1-3 TEL 0774-65-7255 FAX 0774-65-7257	無料	土、日	同志社大学文学部考古学資料室(研究室)の全国をフィールドにした研究調査と校地学術調査委員会による今出川・新町・京田辺の各キャンパスの発掘調査で収集された85万点にのぼる考古資料と民俗・民族資料などを中心にした、考古学、歴史学、民俗学、産業・技術史等の資料を収蔵・展示している。	○1996年2月にオープンした博物館相当施設			△	○			http://hmuseum.doshisha.ac.jp/
189	花園大学 私立	花園大学歴史博物館	〒604-8456 京都市中京区西ノ京壺ノ内町8-1 TEL 075-811-5181代	無料	会期中の日祝、全学休校日	2000年(平成12年)、歴史博物館に創設。本学の調査・研究活動によって蓄積された資料を広く公開し、大学教育および市民の皆さんの生涯学習に役立てることを目的としている。これからの大学の教育・研究活動は、広く社会に向かって貢献できるものでなくてはならず、花園大学歴史博物館は、こうした「開かれた大学」の中核施設として、今後もさまざまな事業を行っていきたくと考えている。	○		○	○				http://www.hanazono.ac.jp/gakujutu/history/
190	立命館大学 私立	立命館大学国際平和ミュージアム	〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 TEL 075-465-8151 FAX 075-465-7899	大人400円	月曜日	2005年4月9日(日)リニューアルオープン。(1)十五年戦争(1931-45)の実態、(2)第二次世界大戦と責任、(3)現代における戦争と平和、エビローク・平和のためのメッセージの発信から構成されている。特別展、シンポジウムなどの催し物を随時企画。環境破壊・飢餓・貧困・民族・紛争など幅広く平和に関するものをとりあげている。			○	○	○	○		http://www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum/
191	追手門大学 私立	宮本輝ミュージアム	〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 TEL 072-641-9638	無料	日曜、祝日	追手門学院創立120周年記念事業の一環として、追手門学院大学附属図書館が2005年5月にリニューアルオープン。エントランスホール内に卒業生、宮本輝氏の著作や原稿等を集めた「宮本輝ミュージアム」を開設。このミュージアムは、宮本輝氏の著作等を通して、図書館を利用される学生及び市民の方々に感動と共感の場を提供。			○					http://www.oullib.otemon.ac.jp/lib/teru/index.html

192	大阪大谷大学 私立	大阪大谷大学 博物館	〒584-8540 大阪府富田林市錦 織北3-11-1 TEL 0721-24-1039	無料	春・秋の 特別展期 間中のみ 一般公開。 特別期間 中の日・ 祝日およ び大学の 休日は休 館。	1999年、大谷学園90周年記念施設として、大学資料館が増設拡充され、博物館として再出発。近接地域の文書資料、化粧道具、衣装、考古遺物、和裁関連資料、中国出土鏡・陶磁器等を所蔵。	○昭和58年博 物館相当施設 の認定	? 教授制	○平成8年度 150名						http://www.osaka-oh.tani.ac.jp/museum/index.html
193	大阪音楽大学 私立	大阪音楽大学 音楽博物館	〒561-0841 大阪府豊中市名神口 1-4-1大阪音楽大学 K号館 TEL 06-6868-1509	無料	祝祭日	2002年4月に旧付属楽器博物館と旧音楽研究所を中核として改組・統合し、新たに総合的な音楽資料の博物館として活動を開始。									http://www.daion.ac.jp/institute/museum/index.shtml
194	大阪経済大学 私立	70周年記念館 ギャラリー	〒533-8533 大阪府大阪市東淀 川区大隅2-2-8 TEL 06-6328-2431			70周年記念館は実習室や研究設備を備えた、人間科学部の中心棟。1・2階の大ホールやギャラリー、心理臨床センター等、一般の皆様にも公開される施設がある。			○						http://www.osaka-ue.ac.jp/index.html
195	大阪芸術大学 私立	大阪芸術大学 博物館	〒585-8555 大阪府南河内郡河 南町東山469 TEL 0721-93-3781 (内線2621～2623) FAX 0721-93-8564	無料	日曜、祝 日	昭和56年に塚本英世記念館芸術情報センターを設置して以来、あらゆる芸術資料の収集に努めてきた。その点数は2000点を超え、そのなかには19世紀末の初期モデルから20世紀中葉までの変遷を概観できる蓄音機コレクションや、世界に4セットしかない作家自選によるアンリ・カルティエ＝ブレッソン写真コレクション、20世紀グラフィックデザインのひとつの大きな流れであるスイス派の作品などのほか、国内外の優れた美術作品や芸術資料が多く含まれる。これらの芸術資料をはじめとする本学所蔵の作品を、学内での研究に役立てていくこともより、広く社会に公開することを目的として平成14年に開設。		○	○	○				http://www.osaka-geidai.ac.jp/geidai/museum/	
196	大阪商業大学 私立	大阪商業大学 商業史博物館	〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4-1-10 TEL 06-6785-6139 FAX 06-6785-6237	無料	祝祭日	商業史博物館では、日本商業史とくに「近世大阪の商業」をテーマにした貴重な史資料を収集・調査研究・展示・保管。収蔵品は、蔵屋敷・市場・大阪三郷の自治制に関する古文書や、藩札・兩替天秤をはじめとする実物資料など。また、幅広い領域での研究活動も行われており、紀要・史料叢書等の発行や研究会・講演会の開催、地域文化活動支援にも積極的に取り組む。	○相当施設							http://moch.daihodai.ac.jp/index1.shtml	
197	大阪薬科大学 私立	薬用植物園	〒569-1094 大阪府高槻市 奈佐原4丁目20番1号 TEL 072-690-1000代 FAX 072-690-1005代			薬用植物園はキャンパスの東端に位置し、管理棟区域と見本園区域からなる。1000種を超える植物を丹念に育て、薬用植物学、生薬学、生薬化学等の学習や市民の見学に供している。また、多くのセリ科、マメ科、キンポウゲ科、シソ科植物等を栽植し、生薬学的研究に供している。他の薬用植物園等との共同研究を重視し、役割を果たすと共に、研究者の交流を実現している。								http://www.oups.ac.jp/jpn/shisetu/garden/index.html	
198	関西大学 私立	関西大学博物館	〒564-8680 大阪府吹田市山手 町3丁目3番35号 TEL 06-6368-1171 FAX 06-6388-9928	無料	水・土・ 日曜日	平成6年4月に開館。考古学および関連資料等約1万5千点を収蔵し、その一部を展示・公開。学外一般への公開を行うとともに、大学設置の博物館相当施設として、学内教職員と学生の教育・研究活動に寄与することを目的としている。	○	○学芸員3, スタッフ4	○	○				http://www.kansai-u.ac.jp/Museum/museum.htm	

番号	大学名 公立私立	博物館名	問い合わせ	入館料	休日	概要	登録有無	専任職員 (教員・学芸員) 有無	大学に学芸員 課程の有無	学芸員養成 との関連性	博物館講座 の実施	ミュージアム ショップ 設置有無	備考	アドレス
199	近畿大学 私立	薬学部植物園	〒577-8502 東大阪市小若江 3-4-1 TEL 06-6721-2332, 3840 FAX 06-6730-1394		土, 日	約500種の薬草を見本的に栽培。研究用としてゴシユユ、カイケイジオウ、サジオモダカ、ツルドクダミなどの生薬原料を栽培するとともに、中国渡来の漢方薬原料である大和産のボタン、シャクヤク、オオボクアウキなどを栽培している。またタイ・チェンマイ大学との交流によって得られたC u r c u m a 属植物やその他の薬用植物および近畿大学と姉妹校である中国薬科大学との交流で種子交換した薬草も栽培し、特色ある薬用植物園にしている。		△技術係長1	○					http://www.phar.kindai.ac.jp/yakusoen.top.htm
200	摂南大学 私立	摂南大学薬学部附属薬用植物園	〒573-0101 大阪府枚方市長尾 峠町45-1 TEL/FAX 072-866-3136	非公開		昭和58年摂南大学薬学部の認可と同時に附属施設として設置。薬学部の学生と教職員の教育・実習および研究を目的として運営されている。学部の敷地内に温室のある標本園と樹木園Ⅰ及び樹木園Ⅱの3カ所に分かれており、標高は約60メートル、総面積は約10,000平方メートル。								http://www.setsunan.ac.jp/p-yakuso/index.htm
201	大阪青山大学 私立	大阪青山大学歴史文学博物館	〒666-0113 兵庫県川西市長尾 町10番1号 TEL 072-790-3535	700円	月曜	平成10年10月に開館。昭和42年の開学以来、古文書・典籍を始めとする文化財の保護に努め、4000点以上の資料を保存。博物館学芸員課程での科目等履修生(聴講生)を広く一般の方から募集し、付属の大阪青山歴史文学博物館で「本物」に触れることで、より実践的に学ぶことができる。生涯学習の動きが高まるなかこれを実践。		○	○	○	○	社会人優遇。履修に必要な費用入学検定料:10,000円,受講料100,000円※「博物館実習」には他に学外実習の交通費等が必要。開講日程 [前期] 4月～7月, および [後期] 10月～1月の毎週土曜日, 9:00～16:00(90分×4コマ)他 日曜の見学実習年間5回程度(日程の詳細は決定次第お知らせ)。	http://www.osaka-aoyama.ac.jp/oa/museum/index.html	
202	大手前大学 私立	大手前アートセンター	〒662-8552 兵庫県西宮市御茶 家所町6-42 TEL 0798-34-6331(代)	無料	月曜	1992(平成4)年設立。大手前アートセンターは設立以来、文化発信の拠点として展覧会や学術講演会、ミニコンサート、そして在学生たちの作品発表の場として、地域文化の振興に情熱を注いだ先人たちの精神を次世代に伝え、文化創造の担い手が集う場としての役割を担っている。			○					http://www.otemae.ac.jp/kyoiku/shiset/art.html
203	甲子園学院 私立	甲子園学院美術資料館～久米アートミュージアム～	〒665-0006 兵庫県宝塚市紅葉 ガ丘10-1 TEL 0797-87-5111		月曜	この美術資料館は本学院創立60周年を記念して開設されたもので、学院所蔵の絵画・彫像等を展示。			○					

204	神戸薬科大学	私立	薬用植物園	〒658-8558 神戸市東灘山本北 町4-19-1 TEL/FAX 078-441-7514	無料	土日、祝日 要予約 要事前連絡	本園は薬学関係学部設置基準要項(付属施設として薬用植物園をおくものとする)に基づき設置。学生に対し薬用植物の実物による教育と、研究材料の提供を行い、さらに貴重な薬用植物資源、野生植物の保護を目的としてその運営にあたる。							薬学部附属植物園は、大学設置基準42条「薬学部における薬用植物園の設置義務」により設置	http://www.kobepharm-u.ac.jp/~yakusyok/
205	流通科学大学	私立	中内記念館	〒651-2188 神戸市西区学園西 町3丁目1番 TEL 078-794-3555代			開学10周年を記念して本学卒業生が中心となり、造られた中内記念館は、中内理事長の育った家「サカエ薬局」のモニュメントと、インターネットができる学生談話室、サイバーラウンジから構成される。有朋会(同窓会組織)事務局があるので、OB・OGとの交流もでき、広く一般の方にも開放されている施設。								http://www.ums.ac.jp/campus/c_map08.html
206	帝塚山大学	私立	帝塚山大学附属博物館	〒631-8501 奈良県奈良市帝塚 山7-1-1 TEL 0742-48-9700 FAX 0742-48-8783	無料	日曜日・ 祝祭日・ 創立記念日 (5月6日)	帝塚山大学附属博物館は、平成16年4月1日に開館。大学附属博物館としては、さほど大きな博物館ではないが、考古・美術・民俗各分野の資料を所蔵しており、大学教育に活用、またそれらの資料を公開し、開かれた大学の一環として、社会に貢献していこうと考えている。	○		○	○		帝塚山大学デジタル博物館もある。 http://vmuseum.tezukayama-u.ac.jp/	http://www.museum.tezukayama-u.ac.jp/	
207	天理大学	私立	天理大学付属参考館	〒632-8540 奈良県天理市守目 堂町250 TEL 0743-63-8414	大人 400円	火曜	天理教会本部神殿の南にある天理大学附属の博物館。海外布教のための資料として長年にわたって集められた、中国・朝鮮・ギリシャ・エジプト・ペルシャなどの考古美術品、世界各国の民族資料や交通資料、日本の信仰資料を、数多く展示。布留[ふる]遺跡から出土した石鏃[せきぞく]や多くの土師器も収蔵。調査研究もしている。	○1956年指定	○館長1, 副館長1, 学芸員17		○	○	○学芸員によるワークショップが定期的にある	http://www.sankokan.jp/	
208	鳥取短期大学	私立	鳥取短期大学 絣美術館	〒682-8555 鳥取県倉吉市福庭 854 TEL 0858-26-1811 FAX 0858-26-1813	無料	土・日・ 祝日および大学の 休日	倉吉絣の保存と集中展示を目的に、平成10年4月に開館。1階は絣研究室の工房、2階は展示室。展示室には、明治から昭和初頭にかけて倉吉とその周辺で織られた絣や、外国の絣、研究室修了生の作品などを展示。絣研究室は、「地域に開かれた大学」という本学の構想理念に基づき、倉吉絣の技術保存と後継者育成を目的に、昭和63年に開設。以来、社会人を対象に、織物実習・講義・学外見学など幅広く研修を行なう。					×大学に学芸員課程なし		http://www.cygnus.ac.jp/local/kasuri.html	
209	加計学園(岡山理科大学)が運営	私立	加計美術館	〒710-0046 岡山県倉敷市中央 1-4-7 TEL/FAX 086-427-7530	一般 300円	月曜日・ 年末年始	加計美術館は加計学園と高梁学園が倉敷美観地区の中心に設立した美術館。すぐ近くには、わが国最初の西洋近代美術館として有名な大原美術館がある。ここでは両学園の学生達が、学芸員実習や西洋絵画の模写などで大変お世話になっている。そのことも踏まえて、大原美術館や地域の美術館、博物館との交流を深め、学生および先生方との交流も私たち美術館の役目として運営していきたいと思っている。そして地域の芸術・文化発展のためにも力をそそぐ。				○	○	○倉敷芸術科学大学・倉敷芸術科学大学専門学校の学生たちが作ったガラス製品や陶器、絵葉書などを展示、販売している	加計学園、高梁学園の岡山理科大、倉敷芸術、科学大学ほか13校が提携	http://edu.kake.ac.jp/kakebi/
210	加計学園(岡山理科大)	私立	岡山理科大学 自然植物園	〒700-0005 岡山市理大町1-1 岡山理科大学第10 号館3階岡山理科大学自然植物園事務室 TEL/FAX 086-256-8462		要予約	加計学園自然植物園は、総長の直轄機関として、平成8年4月より正式に発足。自然植物園は岡山市横井上の半田山の北斜面に位置しており、広さは約20ヘクタール。園内にはアベマキやコナラが優先していて、瀬戸内の里山をそのまま利用してつくられたものである。園内には、遊歩道、岡山県産樹木園、自然観察オリエンテーリング園、外国産樹木園、野鳥の観察の森などがあり、整備を進めている。主な樹木にはラベルをつけ、植物の種名がわかるようにしており、また、圃場、薬草園では、薬草、樹木の苗木、研究用の植物の栽培を計画。					○		http://www.kake.ac.jp/matsuo/Garden/title.htm	

番号	大学名	国立私立	博物館名	問い合わせ	入館料	休日	概要	登録有無	専任職員 (教員・学芸員) 有無	大学に学芸員 課程の有無	学芸員養成 との関連性	博物館講座 の実施	ミュージアム ショップ 設置有無	備考	アドレス	
211	川崎医科大学	私立	現代医学教育博物館	〒701-0192 岡山県倉敷市松島 577 TEL 086-462-1111 (内線33221)	無料	日曜日、 祝・祭日、 年末年始 (12月29日 ～1月3日)、 学園創立 記念日 (6月1日)	豊富な実物標本と視聴覚教材によって最新の医学全 域にわたり、学生が自学自習するために設立されたもの。 テレビなどに馴染んできた学生たちには、「第2の実物図 書館」であり、また「動きを見る図書館」でもある。なお本館 の2階は広く一般に開放し、いろいろな病気をわかりやす く解説してある。3階、4階は医療関係者のみ見学可能と なっている。		△教授制。園 長は教授が兼 任。専任教員 構成は助教授 1名、講師1 名、助手1名。					各々の担当 (コンピュータ・ 標本・模型など) に分かれた博 物館スタッフが 専門の教員の 協力を得て、 数々の展示物 を自主開発・ 製作。 それぞれの関 連分野の方と の情報交換を のぞむ。	http://www. kawasaki-m. ac.jp/mm/	
212	広島女学院大学	私立	広島女学院大 学歴史資料館	〒732-0063 広島市東区牛田東 4-13-1 TEL 082-228-0386(代) FAX 082-227-4502	無料	月、水、 金のみ	広島女学院大学の歴史や建学の精神を紹介。原爆の被 害を免れた貴重な資料や写真、関係者からの寄贈品の 数々を収蔵・展示。博物館実習は、まず4年次の前期に、 学内にある広島女学院歴史資料館において、資料の取り 扱いをはじめ、教育普及活動など、学芸員の基本的な実 務について学び実習。次に、夏休み中の一週間、県内の 美術館や博物館で各館の学芸員の指導を受けながら実 務実習。			○	○				http://www. hju.ac.jp/ annai/ campus/ rekishi/ rekishi.html	
213	梅光学院大学	私立	梅光学院大学 博物館	〒750-8511 山口県下関市向洋町 1-1-1 TEL 0832-27-1070 FAX 0832-27-1071	無料	水・日曜 日、祝祭日	山口県指定の本格的な博物館。大学博物館は、1994年 4月1日に「梅光学院大学附属資料館」として発足 し、翌年に「博物館相当施設」として山口県から指定され た西日本では数少ない本格的な博物館。2001年4月に 「梅光学院大学博物館」と改称、キャンパス移転にともな い2003年4月から移転・リニューアルした施設で新たな 歩みを始めている。	○1995年博物 館相当施設に 指定	○民俗		○	○		http://www. baiko.ac.jp: 9080/ museum/mu -00.html		
214	九州産業大学	私立	九州産業大学 美術館	〒813-8503 福岡県福岡市東区 松香台2丁目3番1号 TEL/FAX 092-673-5160	一般 200円	月曜日	九州産業大学では、芸術学部を中心に美術、工芸、写真、 デザインなど多くの美術作品を収集してきた。九州産業大 学美術館は、これまで収集してきたコレクションを活かし本 学の芸術教育研究に役立てるとともに学外にも公開し、さ らに地域の人々の楽しみと学習のための活動を行う拠点 として、2002年4月に常設の公共美術館として発足。	○2002年04月 26日博物館相 当施設に指定		○	○	○	○	博物館実習 施設	http://www. ip.kyusan-u. ac.jp/ ksumuseum/	
215	西南学院大学	私立	西南学院大学 博物館	〒814-8511 福岡市早良区西新 6丁目2番92号 TEL 092-823-4785 FAX 092-823-4786 博物館事務室	無料	日曜/キリ スト誕生日 (12/25)/ 年末・年始 (12/28-1 /5)	ユダヤ教、キリスト教関係の資料や西南学院の創立者で あるC.K.ドージャーにまつわる品々を展示。			○	○			http://www. seinan-gu.ac. jp/museum/		
216	長崎純心大学	私立	長崎純心大学 博物館	〒852-8558 長崎市三ツ山町235 番地 TEL 095-846-0084	無料	日曜日、 祝祭日	純心女子短期大学当初より郷土史研究、特にキリシタン 研究に力がそそがれ、資料の収集が行われていた。1982 年に純心女子短期大学長崎地方文化史研究所が開設 のときに資料の一般公開が始まり、1992年純心女子短期 大学付属歴史資料博物館が開設。1994年長崎純心大 学の開学とともに、長崎純心大学博物館となり、1996年 には博物館法による相当施設となった。	○1996年には 博物館法によ る相当施設		○	○	○	○	○	○	http://www. n-junshin.ac. jp/museum/

217	熊本学園大学 私立	産業資料館	〒862-8680 熊本県熊本市大江 2-5-1 TEL 096-362-4095	無料	日曜日、 祝日	熊本学園大学産業資料館は、明治27(1894)年に建てられた熊本紡績(株)の赤れんが工場の一部(電気室)を移築したもの。全国的に見ても、明治20年代の紡績工場建物はほとんど残っていないため貴重な産業遺産である。平成15年月星化成(株)熊本工場の閉鎖に伴い解体されることになった際、譲り受け移築復元。								http://www.3kumagaku.ac.jp/institute/hmi/
218	別府大学 私立	附属博物館	〒874-8501 大分県別府市北石 垣82 TEL 0977-67-0101 FAX 0977-66-9696			1954年(昭和26)に、別府大学附属博物館の前身が、上代文化研究所の附属施設の歴史博物館として開設。1963年、史学科の創設とともに学芸員養成課程の実習施設になる。1977年(昭和52)、大学創立30周年記念館として装いも新たに別府大学附属博物館が再開館。1999年(平成11)には、歴史文化総合研究センター内にさらに完備した展示施設・実習施設が完成。			○	○				http://www.beppu-u.ac.jp/cultural/c-plant/c02-muse/c01-idea.html
219	廣池学園(麗澤大学など) 私立	中津記念館	〒871-0162 大分県中津市東永 添南2423 TEL 0979-22-4309 FAX 0979-22-4907		月曜	麗澤大学の創設者廣池千九郎の生家である、江戸時代の農家がそのまま保存。別棟で小規模ながら展示スペースも設けられています。								http://www.hiroike-chikuro.jp/chikuro_hall/index.htm
220	鹿児島国際大学 私立	国際文化学部 博物館実習施設 考古学ミュージアム	〒891-0191 鹿児島市下福元町 8850(5号館1階) TEL 099-261-3211 FAX 099-261-3299	無料	水、土日、 祝日	学芸員資格課程の高度な教育を行うことを目的として、2002年4月に開設。2004年3月には、博物館相当施設の指定を受け、考古学ミュージアムとして生まれ変わった。学芸員教育だけでなく、企画展や講演会などを通じて、一般市民への情報発信や教育普及活動を行う。	○相当施設		○	○				http://www.iuk.ac.jp/museum/index.html